# SENUMA LUMBER

# 60TH ANNIVERSARY

since 1961

— 60周年記念誌 —

瀬沼木材株式会社

# SENUMA LUMBER

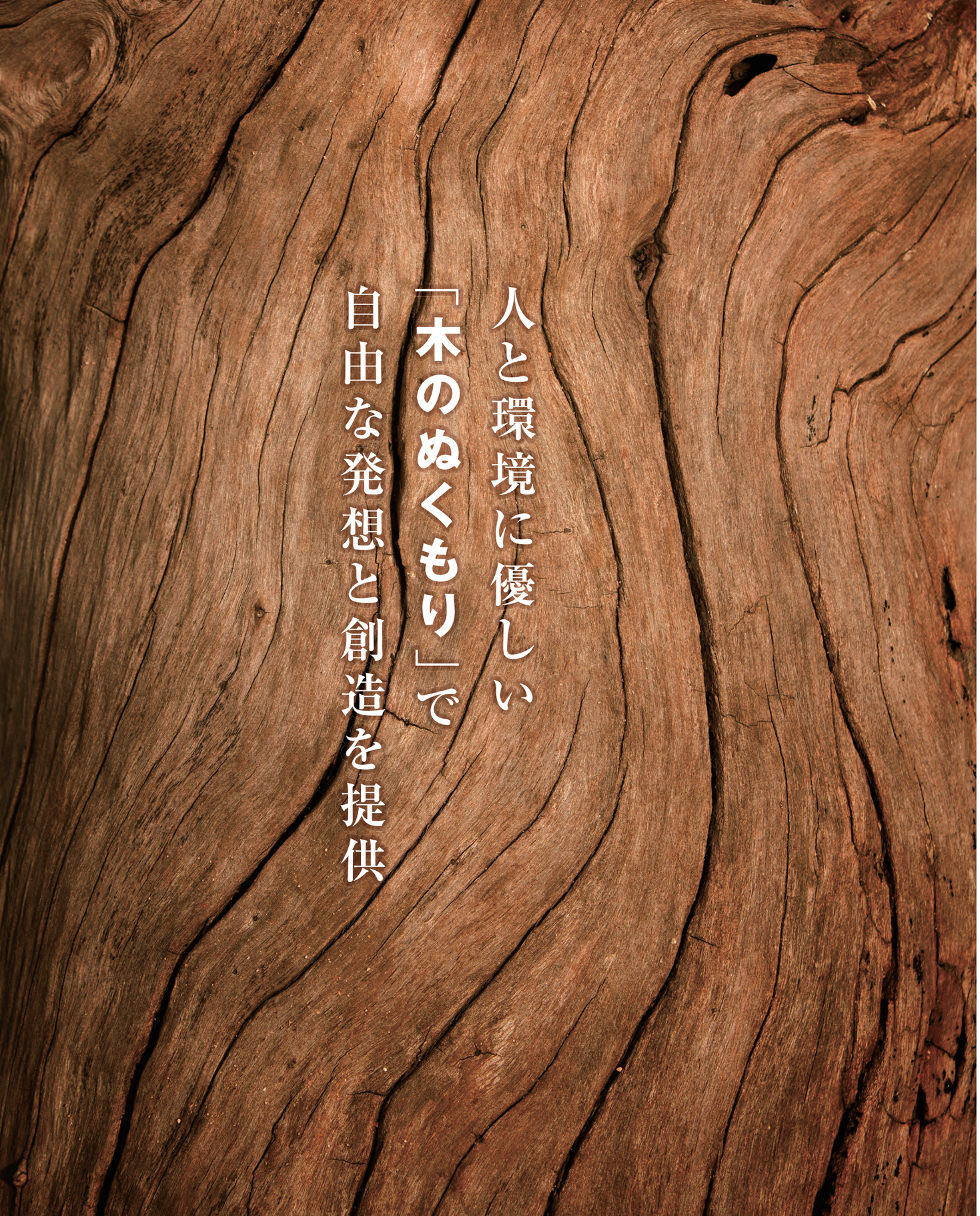
# 60TH

ANNIVERSARY

since 1961

— 60周年記念誌 —

瀬沼木材株式会社




# 社章の由来

WOODY LIFE CREATE
瀬沼木材株式会社

頭文字であるアルファベットの大文字で描かれている“S”の文字には、
その後に続く小文字たちを屋根のように守るというニュアンスで描かれています

上部が大きく全体を覆う様子は、文字全体を大きな屋根で守る……
すなわち、家族を守る家を表したデザインとなっています

また、人と環境に優しく、そこに“木のぬくもり”を加え、
瀬沼木材ならではの「自由な発想と想像を提供する」という想いで、
コーポレートカラーである青空色が使われています

## 社是に込められた想い

力強く記された社是は、平成31（2019）年4月に現在の社屋に改築が行われた受付にあります。
入口を入りカウンター越しに視線を上に向けると目に留まる位置にあります。
秋田杉をふんだんに使ったその空間は、
来客するすべてのお客様を木材独特の薫りで優しく包み込みます。

**すべてのお客様の住まい造りを汗と知恵と和合と心を持って造って行く企業**
**大木のようにどっしりと構えてお客様の喜び感謝され地域に貢献する企業**

瀬沼木材株式会社の信条とも言うべき経営姿勢が表れています。

### 旧社章について

設立当初より使われている社章で、中央に記された“正”の文字は、瀬沼木材株式会社設立者・正次の“正”から取ったものです。
商売の王道を貫き、愚直までな生真面目さで仕事と向き合う姿勢を表しています。

# WOODY LIFE CREATE

すべてのお客様に喜び感謝され、
地元・八王子に貢献していく。

わたしたち瀬沼木材は、
すべてのお客様に総合的な品質と安全性を約束し、
人と環境に優しい木のぬくもりで
自由な発想と創造をご提供することを
WOODY LIFE CREATE と位置づけ、
お客様の住まいづくりに感動を提供させていただく企業です

# Contents

**60th Anniversary** *commemoration magazine*


05 社章の由来

08 刊行のことば
瀬沼木材株式会社 代表取締役・瀬沼 庄次郎

10 刊行のことば
瀬沼木材株式会社 専務取締役・瀬沼 栄次朗

12 *SENUMA COLUMN 01*
記念品『まな板』を制作した想い
～お世話になった皆さまへ、これまでに支えてくれた仲間たち～

13 祝辞
経済産業大臣・萩生田光一 さま
八王子市長・石森 孝志 さま
東京都議会議員・伊藤しょうこう さま
東京都議会議員・西山まさる さま
八王子商工会議所 会頭・樫﨑 博 さま
八王子市議会議員・岩田 祐樹 さま
八王子市議会議員・岸田 功典 さま
ジャパン建材株式会社 代表取締役・小川 明範 さま
株式会社小泉多摩 代表取締役・末木 明男 さま
ナイス株式会社 代表取締役・杉田 理之 さま
大建工業株式会社 代表取締役 社長執行役員・億田 正則 さま
千葉エンジニアリング株式会社 代表取締役・番場 弘和 さま
一般社団法人 八王子市医師会 副会長，鳥羽クリニック 院長・鳥羽 正浩 さま
株式会社母の手 代表取締役・久保 英生 さま

24 *SENUMA COLUMN 02*
さまざまな木材を天然乾燥させています

25 60年のあゆみ
年表／木材のことなら瀬沼木材～60年の歴史～

50 *SENUMA COLUMN 03*
丸太の木取りについて

51 活動と実績
社内イベント／施工実績（戸建，集合住宅，施設関係，公共施設，加工）

61 事業案内
概要／安心・安全な暮らしつくりのために「許可証」のご紹介

66 創業120年に向けて

# 60年を節目に、新たなスタートラインに立つ

瀬沼木材株式会社 代表取締役

## 瀬沼 庄次郎

弊社・瀬沼木材株式会社は、おかげさまで創業60周年を迎えさせていただきました。これも偏にお客様、お取引先様、関係諸機関、そして歴代従業員の皆様方のご支援、ご助力の賜物と深く感謝申し上げる次第です。

この60周年を一つの節目と考え、弊社では社史をまとめ記念誌を発行いたしました。詳細につきましては本文をご照覧いただければと存じますが、皆様へのご挨拶として弊社60年と歩みの概略と、現在社長を務める私の思いについて申し述べます。

弊社は八王子の地で様々な商売を手掛けていた私の祖父・瀬沼庄太が、1961年（昭和36年）に材木の商いを事業化したことを起点・創業としています。創業当時は「造船」の材料を主に取扱っていたようで、その後は折からの高度経済成長の波に乗り、「建材・住材」の取引を開始し現在に至っています。

祖父は八王子市に合併される以前の、元八王子村の最後の村長として地域のために尽力しました。今回、この記念誌編纂にあたって収集した古い資料の中に、祖父の奔走ぶりについて記されたものを発見し、誇らしい気分がいたしました。

弊社は1971年（昭和46年）に八王子の現在地に本社を構え法人化します。その際に代表となったのが、先代社長であり私の父である瀬沼正次です。父は、祖父同様に地域の方々との交流の場には必ず足を運ぶなど、商売の発展と地域への貢献に努めました。

祖父・庄太、父・正次からそれぞれの名をもらった私は、当然自分も家の商売を引き継ぎ、この会社の経営を行うことになるのだろうと、子供の頃から考えていました。明朗快活で底抜けに明るく、男気に溢れていた父を見て育った私は、その姿に憧れも持ち、また自身も将来、そのような経営者になりたいと考えていました。

私は2005年（平成17年）に父から社長職を引き継ぎました。それまでも他社での修行や弊社の社員として勤める中で、弊社と業界を取り巻く環境は決して安穏としていられるものではないことは感じていましたが、社長の立場となってその厳しさをより一層感じるようになりました。また、一見順調に業容を拡大してきた弊社の歴史にも、さまざまな危機があり、それを乗り越えるための工夫と苦労とがあったということも理解できるようになりました。

今回、弊社の歴史をまとめることは、60年の間に弊社を襲った様々な危機――高度経済成長の終焉とオイルショック、バブル経済とその崩壊、2度にわたるウッドショック等々――と、その時々の経営判断を振り返り、現在私自身がめざしているこれからの総合建設業への業態変革の指針を求めることでもありました。

弊社は木材という材料の提供から、建築へと業域を拡大しました。また、建物に対するニーズの変化に対応し、技術革新や流通変革に対応する企業づくりを進めて参りました。革新、変革への取り組みは、これからも間断なく続けていかねばならないと考えています。

また、創業以来常に地域とともにあった弊社は、今後も地元・八王子とともに歩んでいきます。その一つとして、“八王子産材”を使ったオリジナル商材を“八王子ブランド”および「瀬沼ブランド」として、輸入に負けないものとして誕生させていきたいとも考えています。単に材料を供給し、建物建てるだけではなく、地域の持続的な発展に貢献するモノ・コトをトータルに提供できる体制を作り上げることで、“すべてのお客様の住まい造りを汗と知恵と和合と心を持って造っていく企業”、“大木のようにどっしりと構えてお客様に喜び感謝され地球に貢献する企業”という社是を実現していきます。

さて60年という歳月は、人間でいえば「還暦」を迎えるということになります。還暦とは生まれ変わることですが、0歳児に戻ることではなく、過去60年の知見を持ったうえで新しいスタートラインに立つことだと考えるべきかと思います。私自身の実年齢は還暦前ですが、働き盛りのこの時期に会社の新しいスタートに立ち合えたことを大変幸運であると考えています。先代、先々代に倣い、私も率先垂範で社員の先頭に立ち、地域の人々の輪に加わり、常に明るく、地域や業界の新しい時代を切り開く担い手となるべく努力してまいります。

編纂を終えた記念誌を関係の皆様方にお配りすることは、これまでのご厚情への感謝と同時に、弊社の経営の基本理念と、これからの決意をお伝えし、倍旧のご支援を賜りますことのお願いであるとご理解ください。ありがとうございます。

# 60年の歴史で作り上げた5つの柱を、広く多くの人々の幸せへと繋げる

瀬沼木材株式会社 専務取締役

## 瀬沼 栄次朗

弊社・瀬沼木材株式会社創業60周年を迎えるにあたり、お客様、お取引先様、関係諸機関、そして歴代従業員の皆様方に改めて深く感謝申し上げます。

私は、生まれた時から木に囲まれて暮らしていました。小中学生の頃は、現場への配達を行うトラックの助手席に乗せてもらうなど、将来は家業である木材や建築に関わる仕事をしていくと決めておりました。社会に出ることになった最初は、九州の会社様にお世話になり、材木の仕事の修行をさせていただきました。

弊社に入社したのは1998年です。以来24年が経過し、60年の歴史のうちの3分の2をともに歩ませていただいたこととなります。先代より経営のバトンを受け取り、代表取締役社長として瀬沼庄次郎、取締役として瀬沼三枝、そして専務取締役として私の3人が瀬沼木材株式会社の経営三本柱となり、とにかくがむしゃらに突き進み60周年を迎えることができました。そこで弊社の現況と今後について、私の考えるところを申し述べます。

現在の弊社の事業は、次の5つの柱からなります。1つ目は新築工事、2つ目はリフォーム工事、3つ目は木材販売および加工、4つ目は不動産業、そして5つ目は林業です。それぞれの売上規模や利益貢献については多少の差はありますが、これら5つの事業は、弊社の現在はもちろん、将来を展望する上でも大切な柱となります。

まず、1番目の柱である新築工事は、先代社長が木材という素材の提供から一歩踏み込んで、建物を建てることをビジネスとしようとしたところからスタートしています。現在は、社名こそ「瀬沼木材」ですが、RC造・鉄骨・木造などあらゆる新築工事に対応できる建築事業者になりました。今後もさまざまな建築資材や工法に挑戦し、時代に応じた建築ニーズに対応できる企業としていきたいと考えています。

2番目のリフォーム工事は、エンドユーザーにより密着した分野です。既にトイレ器具交換工事から耐震工事まで幅広い守備範囲でお客様に喜んでいただいておりますが、地域の人々の住まいの安全と快適を実現するビジネスとして、さらに拡充させていく方針です。

3番目の木材販売および加工は、まさに祖業ともいえる分野です。材木加工の技術については創業当時から築き上げたものとして絶対の自信を持っております。国産材の取り扱いでは八王子市で唯一の多摩産材認証店となり、八王子の「道の駅」のデッキ材の納入も行っています。また、外材についてもニーズに応じて提供を整えています。今後も、木材の安定供給に努め、建築等関連業界のパートナーとしての役割を果たしていきます。

4番目の不動産事業は、建築事業の延長であり、また長年の地元でのネットワークから派生したビジネスとも言えますが、八王子の不動産事業者様と連携し、仲介業務などを中心に展開しています。地域の発展に直接的に関わる事業として、これからも一層信頼される仕事を続けていきたいと考えています。

そして5番目の林業については、私の祖父と父の技術をこれからもしっかり受け継いでまいります。祖父・瀬沼庄太は木の目利きとして造成前の樹木や神社、お寺の銘木の伐採を行っていました。父・瀬沼正次は銘木の木倒しでは名人級と言われました。それと同様の評価をいただけるよう、協力業者様のお力をお借りしつつ組織として継承してまいります。

以上申し上げた5つの事業は、60年の歴史の中で先代、先々代、そして現社長が創り上げてきたものです。そして、弊社の事業の現在はもちろん、将来の柱としてもしっかり立て続けていくものです。

ところで、柱は、盤石な土台の上に組まれて初めて、その役割を果たすことができます。弊社・瀬沼木材の土台とは、企業理念に掲げた「全てのお客様の住まい造りを、汗と知恵と和合と心を持って作って行く企業」、「大木のようにどっしりと構えてお客様に喜び感謝され地域に貢献する企業」です。祖父の代より築いてきた地域の皆様との絆、父が追求した地域の皆様への快適な住まい・建物の提供、兄である現社長が探求している時代のニーズに対応したビジネス……それらはみな地域の発展に資することであり、またこの八王子エリアだけに留まらず、広く多くの人々の幸せを実現する事業であると私は確信しています。そのような事業を築き、会社の発展が従業員やお取引先様、そしてお客様をはじめとしてより多くの皆様の幸福につながるよう努めたいと、60周年の節目に当たり決意を新たにしているところです。

どうぞ皆様方におかれましても、倍旧のご愛顧とご支援とを賜りますようお願い申し上げます。

SENUMA
COLUMN
01

## 記念品『まな板』を制作した想い

～お世話になった皆さまへ、これまで支えてくれた仲間たちへ～

これまでお世話になった多くの方々の一番身近な存在でありたい、木材のこと、そして暮らしのことなら「瀬沼木材」という想いと共に、これまでの感謝を込めて「創業60周年記念 まな板」を制作しました。

創業から今日まで、私たちは誠意と責任を胸に宿し、「木材商」から「総合木材・木造ゼネコン」へと60年に亘り歩んできました。今日でも変わらず、お客様のニーズにお応えするために、たゆまず探求し、工夫をし、積極的に行動をすることで理想の家づくりに真摯に向き合い続けています。

人でいう還暦である60年という節目に「まな板」を制作するに至った経緯に、家族を守るには頑丈で安心感を覚える「家」が必要であり、さらに、家族１人ひとりの「健康」が重要であると考えました。「家」を建てるにも木材が欠かせませんし、「健康」を維持するにも十分な栄養が摂れる食事が不可欠です。そうした食事を作る際、まな板がなくては食材を切ることができません。

近年、生活スタイルは劇的に変わったとはいえ、身近なところにも、木材は人々の暮らしに寄り添っています。むしろ、自然の尊厳が豊かに表現される素材として高価で格式高い材木ほど国内外問わず人気を集めています。現代においても人々の暮らしになくてはならないものの一つである木材。その身近な木材を使用した「まな板」を丁寧に一枚一枚仕上げることにしました。

職人の想いが込められたまな板を直接に手にとって、是非、木のぬくもりを感じてください。

# 祝 辞

CONGRATULATORY ADDRESS

創業以来、八王子の地で半世紀以上にわたり木材商として多くの方々に愛され育った瀬沼木材株式会社。

これまでに何度かの転機を迎えつつ、今もなお多くの方々に支えられています。

経済産業大臣

## 萩生田 光一 さま

瀬沼木材株式会社が創業60周年の輝かしい節目を迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。創業者である故 瀬沼庄太氏は八王子市と合併を進めた旧元八王子村の村長も務めた地元の名士であり、地域の人の為に汗を流し、誰からも慕われるリーダーでした。細かな商売の合間に、自分の山から銘木を切り出し、求められる人に譲ることを続けるうち、材木商のような事を始めたのが瀬沼木材のルーツとの事です。二代目正次氏の時代には会社組織を法人化し、本格的な加工工場の整備と共に、本市を代表する材木商へと成長させました。一方、親譲りの面倒見の良さは工務店に材木を納めるにとどまらず、お客様の土地探しや設計の手伝い、時には施工に至るまでお世話を焼き、木造建築の分野にも業務を広げていく事となりました。しかし、それは、人をかき分けての事ではなく、仲間の皆さんに求められ、自然と仕事の幅が広がったのであり、瀬沼家の信頼の上に立つ創業以来の社風とも言えます。

私も先代の時代から公私にわたりご指導いただき、現在の庄次郎社長には身内同然のお付き合いをいただき、私の後援会幹部としても支えていただいております。明るい社長の周りには常に人が集まり、お客様を大切にする精神は従業員や協力会にも通じ、「瀬天会」の様々なイベントには、そのご家族までが笑顔で集う素晴らしい企業です。

今日では鉄筋建築も含め、公共事業にも参画する総合建築業として実績を重ね目覚ましい発展を続けておられます。真に求められて 60 年。これからも人の繋がり、木の温もりを大切にする瀬沼木材の更なる発展をお祈り申し上げお祝いと致します。



祝辞
CONGRATULATORY ADDRESS

八王子市長

## 石森 孝志 さま

瀬沼木材株式会社の創業 60 周年に際し、心よりお祝い申し上げます。

ひとえに 60 年と申しますが、創業から現在に至るまで、激動する社会の中で会社を維持し発展させ、一つの事業に邁進した活躍には改めて敬意を表します。

人に例えると 60 年は還暦であり、人生で一番充実した時期とも言われています。貴社も八王子という「地」に根を下ろし、積極的に事業を展開し、今、一番充実した時期を迎えているのではないでしょうか。

さて、本市は市内の約 6 割が「緑」で覆われる自然豊かなまちで、市政世論調査では本市に住み続けたい理由の第 1 位が「緑が多く自然に恵まれている」となるなど、本市の森林を始めとする豊かな自然は、市民にとって未来に残す郷土の宝と言うべきものです。また、近年では「木」の良さが見直され、木材需要の高まりとともに、地場産の木材である「多摩産材」の公共施設などでの積極的な活用も進んでおります。このような中、「多摩産材認証登録事業者」として積極的に木材利用等に取り組んでいる貴社は、まさに本市の産業の一翼を担う存在であり、大変頼もしく感じております。

結びに、今後も瀬沼木材株式会社という「木」がすくすくと成長し、「八王子市の巨木」として地域に根差し、益々発展されますよう心より祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

祝辞
CONGRATULATORY ADDRESS

東京都議会議員

## 伊藤 しょうこう さま

瀬沼木材株式会社が創立 60 周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

昭和 36 年に創業され、平成、そして令和と、時代や社会環境が大きく変わっていく中で、人と環境にやさしい木の温もり溢れる住まいづくりを一貫して提供され、地域に愛される企業として成長を続けて来られました。今日まで社業発展にご尽力をされた役員並びに社員、そして関係者の皆様のご努力に改めて敬意を表します。

私の祖父が材木屋を営んでおり幼少の頃に製材所に行ったことが何度もあります。何とも言えない木材の香ばしい香りが現場に漂っていた記憶が微かに残っています。瀬沼木材に訪問しますと、何とも言えない木の良い香りがしてその当時のことが蘇り懐かしさを覚えますし、とても癒されます。

近年、人と環境にやさしい街づくりや脱炭素社会実現に向けての取り組みが進むなど、木材のもつ素晴らしい価値が再発見されてきました。木材の温かみやさまざまな機能をより多くの方々に住まいづくりを通じて伝え、そして循環型社会や地域の発展に向けて期待される瀬沼木材の役割はより大きくなっていると確信しています。

今後とも、バイタリティ溢れる瀬沼社長を先頭に、アイデアと元気で満ち溢れた社員の皆様が力を合わせて、社業が益々ご発展されます様お祈りし、お祝いの言葉と致します。



祝辞
CONGRATULATORY ADDRESS

東京都議会議員

## 西山 まさる さま

東京都議会議員の西山 まさるでございます。

日頃より貴社をはじめ、八王子市民の皆さまにお支え頂きまして心より感謝をしております。八王子の為に仕事でお返し出来ますようこれからも努力し続けてまいります。

さて、この度は瀬沼木材株式会社創業 60 周年を迎えられた事、瀬沼庄次郎社長を始め役員の皆さま、そして従業員の皆さま、心よりお慶び申し上げます。

60 年と永きに渡り企業を存続させながらも、地域の発展に寄与し地元の皆さまに愛され続けてきた貴社のこれまでの活動に敬意を表します。

東京都では現在、多摩産材の利用拡大について推進しております。東京の木である多摩産材を使うことは、多摩の森林の適切な手入れに繋がり温暖化防止にも有効であります。“公共施設”や“保育施設”、また“にぎわい施設”でこの多摩産材の活用が目立ち始めましたが、その範囲を拡充出来るように、より皆さまに身近な材料として後押しできないかと考えております。

貴社は、木材販売、新築工事、リフォーム工事等でご活躍し、中でも木材に関する事は、伐採からスタートし製材として、製品として工事まで一括実施していると伺っております。まさに木材のプロである貴社のこれからの活躍に期待しております。

結びにこれからも地元に愛される地域密着企業として、益々のご繁栄されますことを心から祈念しご挨拶と致します。

八王子商工会議所 会頭

## 樫﨑 博 さま

瀬沼木材株式会社が創立60周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

一口に60年と申しますが、その間我が国経済は、オイルショック、バブル崩壊、リーマンショック、東日本大震災、そして現在のコロナショックなど、幾多の厳しい経済環境を経て今日に至っております。創業以来、こうした数々の難局を乗り越え、記念すべきこの日をお迎えになられたことは、ひとえに瀬沼社長をはじめ社員の皆様方の日々のご努力の賜物と拝察いたしております。

貴社は、昭和36年の創業以来半世紀以上にわたり、地域建設業界の発展にご尽力され、社会資本整備の担い手、そして地域経済と雇用を支える基幹産業として、重要な役割を担ってこられました。また「多摩産材」の認証登録事業者として、八王子市との連携による「木育」を通じた人材育成を積極的に展開されるなど、地元産材の普及と業界の魅力向上に一丸となって取り組んでおられます。

当商工会議所におきましては、先代社長の故瀬沼正次氏、現社長の瀬沼庄次郎氏二代に渡り、建設部会所属の議員として事業推進に多大なご尽力をいただいております。加えて、八王子法人会や八王子西ロータリークラブなど、精力的に活動の幅を広げておられる代表のお姿には深く敬意を表する次第です。

貴社におかれましては、この60周年という節目を契機に、八王子を代表する建設事業者として、今後も一層の技術力向上と労働環境の整備に努められ、更なる飛躍を遂げられますことをご期待申し上げます。

最後に、瀬沼木材株式会社の更なる発展、そして社員皆様の益々のご健勝を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



祝辞
CONGRATULATORY ADDRESS

八王子市議会議員 **岩田 祐樹** さま

創業60周年を迎えられました瀬沼木材株式会社様、まずは心からのお祝いを申し上げます。

我が国における企業存続率は、創業から10年後で約26％であると言われており、8割近くの企業が継続の危機に直面してしまうなかにあって、創業60周年を迎えられるまでには、バブル経済の崩壊やリーマンショックによる全世界規模の経済危機にくわえ、東日本大震災など企業経営が脅かされるような大きな壁に直面され、正に「山あり谷あり」様々なご苦労があった事と思います。

企業コンセプトである「すべてのお客様に総合的な品質と安全性を約束し、人と環境に優しい木のぬくもりを自由な発想と創造により、お客様の住まいづくりに感動を」という確かな理念に基づいた経営を行うことにより、今日まで地域に愛され、地域と共に貴社が発展してこられましたのも、一重に今は亡き先代の瀬沼正次会長より想いを継承された瀬沼庄次郎社長を先頭に、弛まぬ日々の経営努力によってお客様からの信頼を重ね、堅実な経営をされて来られた賜物と思います。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響によって、世界経済は混迷を極め、ウッドショックや建設資材の停滞による新たな危機に直面している状況にありますが、現在までに築かれた貴社の盤石な経営基盤があれば大きな飛躍がこの先も待っていると確信しております。

コロナ禍を契機に価値観や人生観が変化するなかにあって、経験と実績に裏打ちされた貴社の技術力によって、新たな価値の創造に期待を寄せております。

結びにあたり、貴社の益々のご隆盛を祈念致しましてお祝いのご挨拶とさせて頂きます。

八王子市議会議員 **岸田 功典** さま

瀬沼木材様がこのたび、創業60周年の栄えある日を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

私が理事長を務めさせて頂いております医療法人は、開業して8年足らずですが、わずか8年の間にも様々な混乱や危機を迎えながら何とか乗り越えてまいりました。社会情勢が変転極まりない世の中で、貴社のように隆々たるご発展でこのたび60周年をお迎えになられますのも、創業以来、貴社の皆々様の並々ならぬご労苦と様々な工夫が多々あったことと拝察し、深く敬意を表します。

私どもの医療法人では、3年前に美容皮膚科クリニックも開設させて頂きましたが、そのクリニック全ての建設を瀬沼木材様にご依頼させて頂きました。美容皮膚科クリニックにふさわしい清潔感と開放感、そして非日常的な贅沢な空間の中にも温かみも入れたいという大変わがままな思いでお願いさせて頂きましたが、社長、専務を中心に大変熱心に取り組んで頂き、おかげさまで想像以上に素晴らしい美容皮膚科クリニックが誕生しました。ご建設頂いた最高峰の建物に負けないよう、最新の技術と機器、そして最高の接遇を兼ね備えたクリニックを目指してスタッフ一同取り組んでまいります。また、貴社を見習って発展を続け、次のクリニックの建設をまたご依頼出来ることを目標に日々努力してまいります。貴社におきましては、創立60周年という節目を新たな出発点として、これまでにも増して充実した活動に取り組まれることを心から期待しております。

結びに、貴社の益々のご隆盛とご発展、そして関係者皆様のご健勝、ご活躍、ご多幸を心から祈念しましてお祝いの言葉とさせて頂きます。

ジャパン建材株式会社 代表取締役　**小川 明範** さま

瀬沼木材株式会社様におかれましては、この度記念すべき 創業60周年を迎えられますこと、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。
地域銘木のお取り扱いによって発祥した生業は、その後の製材・加工業から、建材の流通や建築の領域にまで事業を拡大され、今では非住宅分野や不動産事業も手掛けられる、まさに地域における住空間の川上から川下までを担うインテグレーション企業へと発展されました。その間、経営をとりまく環境は必ずしも順風満帆の日々ではなかったかと拝察する中、幾多の困難をも乗り越えられてこの日を迎えられたのは、ひとえに創業以来の瀬沼家代々の経営者の方々をはじめ、社員の皆様の日々のご研鑽の賜物に他ならないものと存じます。
そのようなこれまでの歴史に、改めまして心からの敬意を表します。今日の瀬沼木材様を、持ち前の強いリーダーシップで牽引されている庄次郎社長は、とても気さくで腰の低い、何方様とも分け隔てなく接して下さる人格者であるが故に、人望も厚く、業界や地域の関連団体の要職を依頼される機会も数多いそうですが、それが故にそうした繋がりから得られるお仕事が少なくないと伺っております。まさに地場に密着し寄り添いながら貢献されている、地域にとって必要不可欠なご企業であります。
これからもその経営のご手腕を存分に発揮され、瀬沼木材様が今後 益々ご発展されますことを心より祈念し、お慶びのご挨拶とさせて頂きます。

株式会社小泉多摩 代表取締役　**末木 明男** さま

貴社ますますご盛業のこととお慶び申し上げます。
日頃はひとかたならぬご懇情を賜わり深謝申し上げます。
このたび貴社におかれましては創業60周年を迎えられたとのこと、心よりご祝福申し上げます。
私共小泉多摩は長年に渡り瀬沼木材様の現場に携わらせて頂き、大変お世話になっており日々感謝しております。また、誠に勝手ながら共に同じベクトルで仕事の価値を高めさせて頂く良きパートナーとして可愛がっていただいていると感じております。
瀬沼木材様の特徴的な印象は地域に根付き、建築を通して社会貢献をする……そんな姿勢を強く感じます。それは木材と木造建築の造形の深さを活かしつつ、お客様の潜在ニーズの具現化・現実化に特化している点などが挙げられます。得意とする木材の特性を理解しているからこその提案力・対応力が地域の中でも優れている印象がとても強いです。もちろん建築に対しての取り組みは木造だけに留まらず、RC建築や鉄骨作りなど建築全般におかれて堅調です。そうした建造物と言う名の作品が仕上がっていく背景には多くのお客様の喜びと笑顔が、副産物として得られている事でしょう。
また、打ち合わせ100時間説というポリシーをお持ちになっているというのを、以前お聞きした事があります。その真意は、その位納得するまでお客様と話を煮詰めていくというポリシーをお持ちだと言う事です……そんなきめ細かい配慮の中で育まれていく作品でもって、多くの方に満足を与え続けていく生業は、これからも多くの方から支持を集め続ける事でしょう。
今後なお一層のご躍進をとげられることを心よりご祈念申し上げます。

ナイス株式会社 代表取締役　**杉田 理之** さま

瀬沼木材株式会社様が、このたびの記念すべき創業 60 周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。
1961年に瀬沼庄太様が創業された後、1973年に瀬沼木材有限会社として法人化され、初代社長に就任された正次様が、当社相模原市場の競りに参加されたことが、当社とのお取引の始まりとなりました。正次様は当該市場の買い頭であり、競りを終えると、当社創業者の平田周次名誉会長と都度お酒を酌み交わして懇親を深めていたと伺っております。現社長の庄次郎様には、2005年の就任より深くお付き合いいただき、現在は「相模原ナイスパートナー会」の副会長を務めていただいております。今日まで58年に渡るご縁をいただいており、長年に渡るご支援、ご協力に大変感謝しております。
貴社は、老舗の木材卸売で、八王子市内で唯一製材設備を有し、多摩産材認証制度を取得されるなど、木をふんだんに取り入れた一戸建て住宅の建築からリフォーム、官庁工事の請負等に至るまで様々な事業に取り組んでおられます。地元八王子をはじめ高い知名度を有されているのも、歴代の社長様や従業員の皆様のたゆまぬご努力の賜物であると、深甚なる敬意を表します。
今日、事業環境の大きな変化に直面している中、貴社におかれましては、庄次郎様のリーダーシップのもと、これまで培かわれてきたノウハウや信用を一層深化させ、ご発展されていくものと確信しております。今後の益々のご健勝とご活躍を心より祈念しております。

大建工業株式会社 代表取締役 社長執行役員
**億田 正則** さま

瀬沼木材株式会社様におかれましては、創業60周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。
60年前に八王子で芽吹いた苗木は、大木となった今も成長を続け、力強く広げた枝葉の木陰には多くの笑顔が集います。時には風雨に耐え、暑さ寒さも糧とし、樹齢を重ねてこられた役員、従業員の皆様のご尽力に改めて敬意を表します。
瀬沼木材様が幅広く展開されている事業の中でも、住宅・非住宅、新築・リフォームを問わず手掛けておられる工事は、建材メーカーである弊社にとって特別な思いがあります。消費者が集い・暮らすのは「空間」です。建材はその空間を形づくる材料の一つにすぎません。いかに良い建材であっても、その価値を消費者にお届けできるのは施工・工事があればこそ。瀬沼木材様は、建材を知り、空間に仕立て、感動とともに消費者へお届けする、言わばリレーの最終走者であり、バトンを繋ぐ大切なパートナーです。ですから「お客様は誰ですか？」と問われた際、瀬沼木材様となら「空間に集い・暮らす消費者です」と自信を持って答えることができます。
「お客様に寄り添い地域に根差す」。多くの会社がそう志し歩き始めますが、歩き続けるのは容易ではありません。道なき道に迷い、疲れ、立ち止りそうになった時、瀬沼木材様が道を示します。お客様の信頼を得て、信用を築き、更なる信頼を育む歩みで拓いた道です。その歩み、その道で、これからも我々を牽引していただけると期待し、確信しております。
結びに、瀬沼木材株式会社様の益々のご発展と役員、従業員の皆様の一層のご健勝を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

千葉エンジニアリング株式会社 代表取締役

## 番場 弘和 さま

創業60周年という節目の年を迎えられ、ここに記念誌『瀬沼木材 60 周年のあゆみ』が発刊されますことは誠に喜ばしく、心からお祝い申し上げます。

貴社におかれましては、昭和 36 年の創業から昭和 48 年の設立を経て60年、昭和、平成、令和の三つの時代を着実に歩まれ、今日のご隆盛を築かれてまいりました。

しかし、この長い年月、穏やかで順調な時だけではなかったと思います。嵐に見舞われ、大雪で身動きのとれなかった時もあったことでしょう。それでも、山の木々の成長と同じように、じっと大地に太い根を張り、耐え続けてきたからこそ、今の瀬沼木材があるのだと思っています。近年、価値観の多様化や社会生活のスピード化など、激しく変化する社会環境の中にあって、貴社は人と環境にやさしい木のぬくもりを、自由な発想と創造で提供してきました。

千葉県の稲毛海岸二丁目に私共の新社屋を建てていただいて、ちょうど3年の年月が経ちます。国道沿いのシャープな外環デザインの内部に木材を多用した内装、利便性を追求したレイアウト、エコの意識と災害時に備えた装備、どれをとっても私や社員たちの誇りであります。これはひとえに、庄次郎社長と若い頃から付き合わせていただいたおかげであると、常日頃から感謝しています。

結びになりますが、瀬沼木材株式会社のこれからのますますのご発展と社員の皆様方のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

一般社団法人 八王子市医師会 副会長 , 鳥羽クリニック 院長

## 鳥羽 正浩 さま

この度は、瀬沼木材株式会社の創業60周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

社長の瀬沼庄次郎くんとは東京八王子西ロータリークラブに入会してから親しくさせて頂いておりますので、かれこれ7～8年の付き合いになります。当初は破天荒な行動から面食らったこともありますが、当時クラブ内で唯一の同い年であることから意気投合しました。業種や規模は違えど、経営者として先代から事業を継承した立場であることや、同世代ですので周囲や組織から求められることなどの共通点も多く、いつも様々な場面で学ばせて頂いております。時にはその奇抜な言動・行動から誤解されるようなこともあるかもしれませんが、しばらく付き合うと根は真面目で優しいところが社員や仲間たちからも慕われている所以だと分かります。これまで一緒に時間を共有する中で、彼の言葉や振る舞いからハッと気づかされるようなこともたくさんありました。今後もお互いの成長・発展のために末永くお付き合いさせて頂けたら幸いです。

瀬沼木材株式会社の今後一層のご発展と、社員の皆様方のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせて頂きます。



祝辞
CONGRATULATORY ADDRESS

株式会社母の手 代表取締役

## 久保 英生 さま

創業昭和36年、元八王子村長のお祖父様から元会長そして瀬沼庄次郎社長を通して60年の永きに渡り、木材販売から建設業その努力感銘致します。創業当時世界では旧ソビエト連邦のガガーリン氏が人類初の有人宇宙飛行を実現させた年です。当時は国家的プロジェクトであった宇宙事業ですが60年という月日が流れて今ではひとつの産業分野となり、民間企業がしのぎを削る時代になりました。2021年2月には NASA の火星探査機パーサヴィアランスが火星着陸を成功させ、私たちに迫力の映像を届けててくれましたが、世界初の民間を乗せた宇宙旅行が実施されました。次の 60 年間がどの様な建築業界進歩を見せるのか分かりませんが、確実に言えることは、今もどこかで誰かが世界を変えようと真剣に取り組んでいるということです。

ご長男様が大学卒業後、家業を継ぐという決意の元、修行に行きそして 60 年間木材販売、建設業、不動産業、リフォーム、イベント等が永遠に継続されるものです。瀬沼庄次郎社長が初めて取り組んだ仕事が何なのか気になります。当社もそうですが、全ての社員のあるべき姿と確信してます。また創業から世代交代行われてきた訳でありますが、現在はスピーディな時代の変化に対応すべき、瀬沼庄次郎社長と社員一人ひとりの進化も求められています。それが「破」にあたると思います。昨年、昨日とは違う新たなことに挑もうとする気持ちが、会社を変えていく原動力になるのではないかと思います。そして上司の指示を待つのではなく、自発的に動く姿勢が身についてはじめて、次の段階である「離」つまり次のステージへステップアップすることができると思います。社員の皆さんには、自身の能力を高め人生を切り拓いていく力、人間力を高めて欲しいと思います。人間力とは、ある人にとっては専門知識であり、コミュニケーション能力であり、また相手のことを思いやる気持ちなのかもしれません。瀬沼庄次郎社長が学びとった場合はフィードバックするなど、社内で共有できれば素晴らしいことだと考えます。誰もが本音で話すことができ、やりがいを感じ、ここで働いて良かったと思ってもらえる瀬沼木材株式会社を目指していかれると素晴らしい将来の瀬沼木材株式会社になります。

誠に創業 60 周年おめでとうございます。

SENUMA
COLUMN
02

# さまざまな材木を天然乾燥させています

材木は時間をかけてしっかり寝かせることで材木の中から水分が抜け、
収縮・ひねり・曲がりが発生してきます。
変形が収まった時点でそれぞれの木の性格をしっかり見極め、適材適所に使用します。
瀬沼木材ではこれだけの材木を天然乾燥で保管しています。

▲ 杉 (保管年数：7〜8年)

▲ イチョウ・楠 (保管年数：5年)

▲ 欅 (保管年数：5 年)

▲ 欅 (保管年数：10年)

▲ 梁瀬杉 (保管年数：購入以来10年)

▲ 杉 (保管年数：20年)

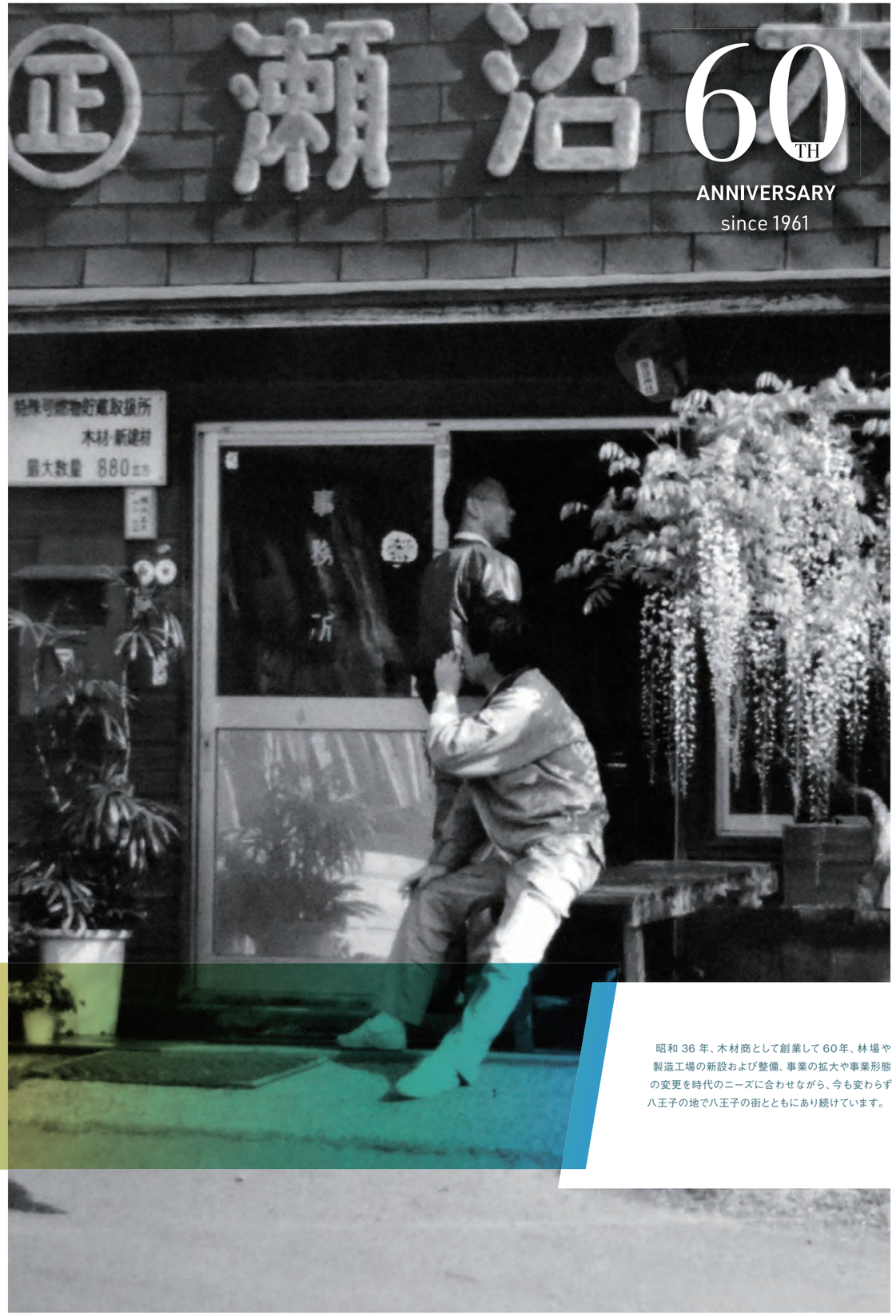
▲ 欅 (保管年数：45年)

▲ 欅 (保管年数：30〜50年)

▲ 欅 (保管年数：10年)

▲ 欅 (保管年数：30〜50年)






昭和 36 年、木材商として創業して 60年、林場や製造工場の新設および整備、事業の拡大や事業形態の変更を時代のニーズに合わせながら、今も変わらず八王子の地で八王子の街とともにあり続けています。

# 沿革

HISTORY OF SENUMA LUMBER

## 木材のことなら、瀬沼木材
～60年の歴史～

1961

**昭和36年10月**
- 創業者・瀬沼庄太により木材商として瀬沼木材を創業
- 多種に及ぶ商売をはじめる

**昭和45年3月**
- 瀬沼会 発足

**昭和46年3月**
- 東京都八王子市に本社屋を新設
- 瀬沼正次が瀬沼木材有限会社を設立

**昭和49年2月**
- 第一林場、第二林場を新設
- 製材工場を新設

**昭和51年5月**
- 第三林場、第四林場、第五林場、第六林場を新設
- 第一加工場、第二加工場、第三加工場、第四加工場、第五加工場、第六加工場、第七加工場を新設

**昭和52年12月**
- 一般建設業許可登録

**昭和55年8月～昭和63年2月**
- 製作機および加工機導入

**平成6年3月**
- 宅建免許登録

**平成16年6月**
- 建築士事務所登録

**平成17年8月**
- 組織変更及び役員変更
  瀬沼木材有限会社から瀬沼木材株式会社に変更
  - 取締役会長……瀬沼正次
  - 代表取締役社長……瀬沼庄次郎
  - 取締役専務……瀬沼栄次朗
  - 取締役……瀬沼三枝

**平成18年5月**
- 多摩産材認証登録

**6月**
- 一般建設業許可登録業種 追加

**平成22年12月**
- 一般建設業許可登録業種 追加

**平成24年1月**
- 第三林場、第四林場を加工専門工場に新設

**平成27年12月**
- 一般建設業許可から特定建設業許可に変更

**令和3年10月**
- 瀬沼木材株式会社 創業60周年

▶ 特定建設業許可登録
東京都知事（特-29）第49594号
▶ 建築士事務所登録
二級 東京都知事 第15093号
▶ 宅建免許登録
東京都知事免許（06）第071167号
▶ 産業廃棄物収物運搬業許可
東京都知事免許 第13-00-218794号

2022

**1970**

**昭和39年**
- 八王子が東京オリンピックの自転車競技会場となる

**昭和40年**
- 人口が20万人を超える

**1971**

**昭和50年**
- 多摩ニュータウンの建設が開始

**1974**

**1976**

**昭和58年**
- 人口が40万人を超える
- 元本郷町三丁目に市庁舎が完成・移転

**1977**

**平成6年**
- 芸術文化会館「いちょうホール」を本町に開館

**1980～1988**

**1994**

**平成9年**
- 人口が50万人を超える
- 学園都市センターを八王子スクエアビル内（旭町）に開設

**2004**

**2005**

**平成18年**
- 八王子駅南口地区市街地 再開発組合が設立

**平成19年**
- 保健所政令市に移行
- 都内初の道の駅「八王子滝山」を開設

**平成22年**
- 八王子駅南口地区市街地再開発
- 八王子駅南口総合事務所を開設

**2006**

**平成23年**
- 戸吹スポーツ公園を開園
- 新市民会館「オリンパスホール八王子」を子安町に開館

**2010**

**2012**

**平成24年**
- 市内初の日本庭園「高尾駒木野庭園」を開園

**2015**

**平成29年**
- 市制施行100周年を迎える

WOOD LIFE CREATE

人と環境に優しい「木のぬくもり」で自由な発想と創造を

## 木材のことなら、瀬沼木材
### ～60年の歴史～

瀬沼木材株式会社が現在の大楽寺町に本社屋を開設したのは、昭和46（1971）年のことです。そのときから10年前の昭和36（1961）年、木材商として創業がはじまりました。

それから60年、林場や製造工場の新設および整備、事業の拡大や事業形態の変更を時代のニーズに合わせながら、今も変わらず八王子の地で八王子の街とともにあり続けています。



## 創業者・瀬沼庄太

昭和36（1961）年10月、創業者である瀬沼庄太により創業しました。創業当時は造船に使われる木材を主に取り扱っていました。創業者である瀬沼庄太は、明治33（1890）年12月29日に南多摩郡元八王子村で父・常盤馬之助、母・エイの間に生まれました。その後、大正14（1925）年5月、瀬沼徳次郎（現社長・曾祖父）の長女・キチと婿養子縁組により、瀬沼家へと入籍しました。

大正末期（大正14年）の日本は、ようやく普通選挙法が成立し、満25歳以上の男子だけに選挙権が与えられた時代です。残されたデータでは、大卒サラリーマンの初任給（月給）は50～60円というものもあります。「大正デモクラシー」、「大正ロマン」といった時代を印象付ける言葉が多く誕生した時代でもありました。

まさに大正時代という政治や生活、文化の面においても大きな変化があった時代に、創業者である庄太は瀬沼家へと移り性を変えたのです。

そして、常に温厚な人柄の庄太とそれを支えるキチとの間に、昭和16（1941）年9月18日、次男・正次を授かります。後に瀬沼木材を設立する人物です。

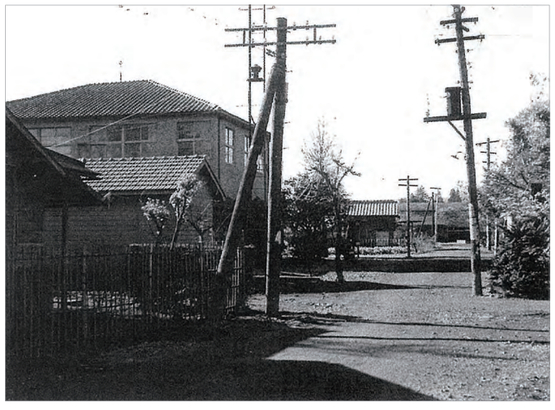
## 元八王子村・最後の村長

昭和30（1955）年に入ると、創業者である庄太は元八王子村の村長となり地域の発展に力を注ぎます。それまでの間にも議長を務めるなど、地元民の面倒をよく見ては、村じゅうの人から絶大な信頼と期待を得てきました。そのことが瀬沼庄太村長の誕生へと繋がったのです。前後しますが、昭和29（1954）年8月の村長選挙で庄太は当選します。また、庄太自身は、元来より元八王子村の八王子市への合併推進を唱え前年の昭和29年8月29日から7日間にわたり村内十六カ所で部落座談会を開いていました。上記の通り、村長での日は浅くても自らが陣頭指揮をとり、他町村の先頭となって合併を進めていくほど、村の将来を誰よりも考えていました。

当時の日本経済は高度成長期への動きが著しく、木材需要の高まりはもちろん、製造業に関しても大規模インフラの整備が必要となるまでとなっていました。経済の発展に乗り遅れまいと庄太は考えたのかもしれません。ただ現実問題として織物不況を契機に、財政難で苦しんでいた八王

▲元八区分図（明治22年～昭和31年）

子市の財政問題がありました。財政問題は資料などが残されているため間違いないと断言できます。元八王子村は合併なくしては村の発展はない状況でもあり、そのことを誰よりも肌で感じ、村民の杞憂を人一倍気に掛けた結果、庄太村長の積極的な働きかけにより、昭和 30（1955）年 3 月 28 年午後 1 時より元八王子中学校講堂において廃庁式が執り行われ、経過報告および功労者に感謝状の贈呈が行われるなどの式典を経て、長きにわたる元八王子村の歴史の中で八王子市への合併という大きな節目を迎えることになったのです。



▲当時の旧元八王子村役場

八王子市へ合併を行った元八王子村とは、その呼称のとおり八王子の地名発祥の地でもあり、地勢からみても切っても切れない町村関係でした。また、西部ブロックの中心でもあり、各町村は元八王子村に集合しては協議を重ねていました。そのこともあり、八王子市元八王子支所の初代支所長に庄太が就任することになります。合併後の幾多の難問を解決するため、昭和 34 年 4 月選出議員として、元八王子の代表として大楽寺町出身の市議会議員となったのです。

そうした中、昭和30（1955）年9月、米軍ジェット機が元八王子の民家に墜落し、5人の死者を出す事故が発生したのです。八王子市は事故の被害者に対し、合計５万円の弔慰金を支出しました。この対応に、元八王子支所長の庄太は「村の時だったら議会にはかり、せめて一人５万円以上の弔慰金を考えることができたのに」と、無念の想いを吐露したという記録が「新八王子市史　近現代（下）」に残っています。それほどに村民一人ひとりのことを想う情の厚い人物でした。

### 八王子市長から元八王子村長への書簡 および
### 元八王子村長瀬沼庄太の八王子市長への返信（旧元八王子村文書）

「東京都南多摩郡元八王子村長瀬沼庄太殿」（封筒表書）／「八王子市本町 15 番地 八王子市役所」（封筒裏書）

謹啓　初冬の候愈々御隆昌の段慶賀の至りに存じます。
陳者町村合併促進法に基く東京都町村合併計画に準拠し地方自治体の向上発展を念頭し貴村と合併致したいので、右趣旨にご賛成の上、ご協力下さるよう書面を以て申し入れに及ぶ次第で御座居ます。

謹白
昭和 29 年 12 月 13 年
八王子市長　小林吉之助　印
八王子市議会議長　小峰実　印

元八王子村長瀬沼庄太殿

▲八王子市長から

先般町村合併の問題に関し貴市より御叮重なるご通達に対しては出来得る限り貴意に副い協力すべく目下鋭意研究中ですが村民の総意も参考にしなければなりませんから今暫猶予を与へられ度いと存じます。

右御返事迄

▲元八王子村長からの返信（昭和28年9月）



## 木材商としてのはじまり

八王子市が目指す大八王子建設の第一歩を踏み出して間もない昭和 36 年10 月、瀬沼庄太は瀬沼木材を創業させます。元八王子村の村長であった頃から様々な商い（炭作り、味噌作りなど）に勢力的に手を染めていたこともきっかけとなり、材木を主軸に取り扱う「瀬沼木材」の屋号を堂々と掲げたのです。あくまで製材加工する前のものを売っていたそうです。

当時の日本は、好景気を背景に人々の暮らしは豊かさに向かって、希望と活気に溢れていました。建築資材としての木材も需要は増すばかりで独立して起業する人も多かったと様々な記録に記されています。急激な経済成長や人口増加により、日本の経済は瞬く間に世界トップクラスの先進国へと躍進していました。そうした中、木材業界では木材の需要と価格高騰により、輸入による規制緩和が行われた時期でもありました。

昭和 45（1970）年には、瀬沼会を発足させます。すでにお取引のある工務店や製材所、親交のある企業たちが一同に集まっての安全大会です。60年余経った現在でも呼称こそ変わっても続いています。

昭和46（1971）年3月になり本社屋を新設することを機に、創業者・庄太の次男である瀬沼正次が瀬沼木材有限会社を設立したのです。若干30 歳での船出となりました。本格的に工務店や建築業者へ木材を製材加工（製品化）するようになったのもこの時期からです。敷地内には設立と同時に中央林場が設立されました。

昭和 44（1969）年には正次は恩方町辺名の名家である野崎家の道子と結婚をし、妻に支えられ二人三脚での会社経営がまさにはじまっていました。

## 後継者たちの息吹

瀬沼木材有限会社も日本経済の荒波に合わせてその業態を変革する必要がありました。

昭和 45（1970）年 4 月、正次と道子の間に長女・富士子が誕生します。翌年の昭和 46（1971）5 月には、

現社長・庄次郎が誕生し、昭和48（1973）年8月には現専務・栄次朗が生まれます。

正次にとっては、人生の門出に立ち、立て続けに子宝に恵まれるという励みが、仕事への意気込みや生きがいになっていたのかもしれません。その証拠に、敷地内での林場整備に力が注がれていました。

## 第一林場・第二林場新設

昭和49（1974）年になると、第一林場および第二林場を新設。作業効率や生産性増強、とくに販路が大工に木材を売るなどへと変わったこともあり製材工場の新設を行いました。

当時の木材業界全体に目を向けてみると、木材需要のうち国産材供給量を占める割合は、製材用で40％弱、合板用が5％弱、パルプ・チップ用で45％弱と、全体で40％ほどに低下していました。国産材の供給不足を補ったのが、原木を中心として木材輸入でした。とは言え、昭和48（1973）年には木材需要がピークとなっていました。同年に起こった第一次石油危機などの影響により減少と増加を繰り返したのです。

高度経済成長期の時世の流れに乗り、建材や住材を取り扱うようになります。当時の残された写真などから、木材の管理や保管の様子が色濃く感じられます。

# 梶原杉と瀬沼木材

Senuma Mokuzai
Chokotto Column
001

バスに揺られバス停「宮の前」で降りると、八幡神社の鳥居前に降り立つことができます。鳥居から社殿まで参道を歩いていくと、巨大な杉の伐痕を前にするでしょう。これが世に有名な「梶原杉」です。資料によれば、樹齢780年以上、樹高30メートルほど、幹の太さ・目通り約12mもあり、東京で1番目に大きい杉でした。とは言え、その大杉も年輪には勝てず、昭和45（1970）年頃から衰退がはじまり、樹勢に限界が訪れ、昭和47（1971）年に枯死したため伐採を行いました。その際、御神木である「梶原杉」の伐採を引き受けたのが、地元企業である瀬沼木材でした。

当時、「伐採」、「伐根」では瀬沼木材の右に出る材木業者はいませんでした。とは言え、東京一の大杉とあって、伐採作業は困難であったと想像できますが、難なくその偉業を成し遂げたのです。

現在、梶原杉の切株の年輪標本は、八王子市郷土資料館と高尾自然科学館に展示されています。

①昭和47年4月1日梶原杉の遺景／②昭和47年4月29日記念木の倒れる瞬間／③輪切りの梶原杉、八王子の資料館へ寄贈／④記念木の巨大を示す

改修工事や不動産業への販路拡大も**積極的に**乗り出す

## 昭和50年初期・大規模林場整備

昭和51（1976）年5月に入ると、大規模な林場整備が行われました。すでに設置してある第一林場および第二林場では場所も狭く、設備を導入するにもスペースがない状況となったのです。近隣でも丸太一本を加工する機材を所有していたのは、他ならない瀬沼木材だけだったので急務であったことは確かです。

当時、木場や橋本（相模原）から仕入れをしてきた木材を、その場で製材加工を行っていました。製材加工を行う上でなんといっても敷地面積がものをいいます。先代から事業を承継していた正次はすぐに林場の拡張に取り掛かりました。第三林場、第四林場、第五林場、第六林場を新設します。さらに、第一加工場、第二加工場、第三加工場、第四加工場、第五加工場、第六加工場、第七加工場までの七加工場を新設したのです。

そうした活況のなか、腕のいい大工と豊富な材木（資材）が当時の瀬沼木材に集まったのです。翌年、昭和52（1977）年12月には、一般建設業許可登録『東京都都知事（般-52）第49594号（建）』の申請を行いました。

木材の製材加工を事業の中心としつつ、建築業、土木業へのアプローチも顕著になっている時期でもありました。正次は、木材・資材の小売りへの意識を持ちながら、改修工事や不動産業への販路拡大へも積極的に乗り出していました。早くから木材のみを扱っているだけでは成長はないと予見していたのかもしれません。そうした動向に、同業他社からは強いバッシングを受けていました。特に、工務店や建設業者からの反発は強かったそうです。木材店が工務店や建設業までをやってしまうことは、当時では受け入れ難かった時代です。そうした中でも、正次は先代譲りの温厚な性格と仲間想い、近隣住民への思いやりのある人徳により、一人孤立することはなかったのです。上手く言ってしまえば、“賢く立ち振る舞った” ということでしょうか。また、妻・道子夫人の明るく社交的な性格にも随分と助けられたのではないかと、当時の日記などからうかがい知ることができます。

また、選挙活動や奉仕団体への活動を通して多くの仲間にも恵まれていたことも確かです。



## 八王子の名家を支えたキチ

昭和55（1980）年1月13日、夫である瀬沼木材創業者の庄太をはじめ家族の方々が見送る中、78歳の生涯を閉じキチは永眠しました。千人を越える会葬者が涙を流したと、当時の新聞に大きく掲載されました。葬儀および告別式では、葬儀委員長として小山省二（全国中小企業団体中央会長）、副委員長に田中荘治（桑錦株式会社社長）、小林多門後援会会長などの名が連なりました。悲報に触れた会葬者の列が、亡き故人の遺徳を名残惜しくも長く続いていたそうです。

その時の様子を新聞の記事には、

> 古きに囲まれた広い生家には、各界、知人から送られた生花、花輪でぎっしり埋め尽くされ、花輪は陣馬街道両脇100メートルにも及びかって類をみないほどの盛大な葬儀が営まれ、永遠の別れを惜しむかのようであった。

と記されています。

昭和55年1月18日（金曜日）　東京

瀬沼庄太翁（元八王子市議）夫人

瀬沼キチ刀自の冥福を祈る

千人を越える会葬者も哀惜の涙

故瀬沼キチさんを悼む

各代表から哀惜の弔辞

また、同紙面には、葬儀委員長であり元衆議院議員であった小山省二の弔辞も掲載されていましたので、抜粋しておきます。

> またご子息、ご息女も立派に成人され、次男正次氏はご夫君の事業を受継がれ瀬沼木材の代表として、他方消防団として活躍されておられ、また三女の夫君小林多門氏は庄太氏の意志を継ぎ新生大八王子建設のため若手市議会議員のホープとして活躍されています。

希望あるハ王子の未来を築いている方々の粛々たる想いが一同に喪に服し、誰もが冥福を祈った一日でした。

# 厳かなる葬儀
# 瀬沼木材創業者・瀬沼庄太 逝く

昭和55(1980)年６月４日、午後８時10分。
瀬沼木材創業者・瀬沼庄太 逝去。

商工日日

厳かに瀬沼庄太氏葬儀

純朴な人柄を追慕

地域発展の功労者

▲ 商工日日新聞

東京速報

元八王子地区発展の功労者

瀬沼庄太翁の冥福祈る

議長、村長、そして市議 生涯を地域繁栄に尽す

会葬者千五百人余が長蛇の列

地域の発展に貢献

▲ 東京速報

市議会議員として地域開発に務め今日の元八地区を基きあげた功労者である。防犯協会副会長、八王子城跡観光協会会長、老人会長、数々の団体長にあたり、地域発展に当たった私利私欲にはなれ、歯に衣をきせず、何人にも直言する生一本の性格など、真に瀬沼さんならではでした。その人柄を称えつつ、地域社会における瀬沼氏に、あらためて行動力と実践に深い敬意と感謝を表し、更に、「街を愛し、働きに生き甲斐を求め、事業は八王子発展に尽くした情熱」などの足跡が浮き彫りにされた。< 新聞記事・一部抜粋 >

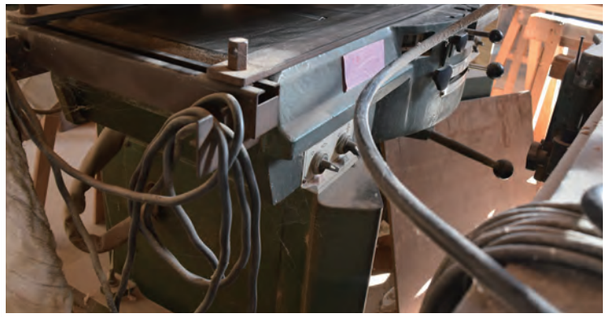
# 製作機および加工機の導入

昭和 55(1980) 年から昭和 63(1988) 年までの８年間で 10 台程の製作機および加工機を導入しました。当時の木材産業に目を向けてみると、木材需要の減退に対して、製材業では製材品の減産と今でいう雇用調整を余儀なくしていました。そうした中で設備投資を強行できたのには、新たな事業へのアプローチがあった結果なのです。木材製材・加工業務だけを専門に行っていたら、まさに経営は滞っていたかもしれません。新たな事業へのアプローチというのは、建築業、土木業、さらにはリフォーム・改築工事や新築工事、加えて不動産業へと裾野を広げることでした。ここでも、正次の行動力と先見の明があったのです。
以下に導入した主な設備の一部を記します。

- **HE33 NO.935 B1**：株式会社廣田帯鋸機械
- **NG800**：長瀬製作所
- **M型電磁歩出装置**：鈴木帯鋸機械製造株式会社
- **SL-50**：株式会社西野製造所
- **SL-280**：株式会社西野製造所
- **軸傾斜横切盤 SFJ-1300**：東海製作所
- **416L**：新鋼工業株式会社
- **3X-360**：新鋼工業株式会社
- **片頭万能丸のこ盤 OUSR-8**：有限会社永和工業所

※分かる範囲での導入記録　時期など順不同

▲ 3X-360：新鋼工業株式会社



▲ 416L：新鋼工業株式会社

▲ 1300：東海製作所株式会社

▲ M型電磁歩出装置：鈴木帯鋸機械製造株式会社

▲ NG800：長瀬製作所

▲ HE33 NO.935 B1：株式会社廣田帯鋸機械

▲ OUSR-8：有限永和工業所

▲ SL-280：株式会社西野製作所

▲ SL-50：株式会社西野製作所



# 恩方町辺名から嫁いできた、道子夫人のルーツとは

SENUMA MOKUZAI
CHOKOTTO COLUMN
002

社長の正次が事業を操業する傍ら支えていたのが妻・道子でした。
先代の庄太を支えたキチ夫人の内助の功をつくされる姿をしっかり目に焼き付け、夫・正次をサポートしたのです。
昭和44（1969）年6月3日に瀬沼正次と結婚をした道子夫人との馴れ初めこそは諸説あるにせよ、瀬沼木材を支えたその功績は実に重要な意味を持っていました。

旧姓・野崎道子。昭和17（1942）年3月28日に八王子市下恩方で父・野崎良雄と母・野崎ヤエの間に生まれます。

野崎家のルーツを辿ってみると、家歴は不詳でありつつも士族の出であることが今でも記録に残されています。また、千人隊同志として活躍をした家柄であることも分かっています。

道子の祖父である野崎良作は、日露戦役に従軍し、除隊後に恩方村辺名において織物業を独立創業した人物です。当時の八王子は織物業が大変に盛んであり、その先輩格として知られた存在であり織物業および八王子の産業を支えた人でもあります。後に、織物組合代議員を歴任しました。道子の父・良雄はその長男として生まれ、郷校を卒業後に家業である織物業を補佐、二代目として経営にも加わりました。また、瀬沼家と同様、地元団体にて活躍をし、消防組小頭をはじめ、戦時中は部落叮、郡長を歴任したそうです。また、織物組合役員としても業界向上に貢献した人物です。

今でも野崎家のルーツや織物業への功績を映像として編集されたフィルムが、青梅信用金庫に数ある資料の中の一つとして保存されている（※大変に古く映写する手動映写機がないため未確認）とのことでした。今でも野崎家で大切に保管保存されていた資料を以下に添付します。

①お客様と電話でやりとりをする道子夫人（昭和50（1980）年代）／②八王子社交ダンス協議会などで活躍され笑顔で踊りを楽しんでいる様子／③地域交流の行事である夏祭りにて踊り仲間との思い出

# 不況下であっても、泰然自若（たいぜんじじゃく）——一切動じることなく、大胆にその勢力を放つ正次

## 第一次ウッドショックを感じさせない勢い

元号が平成に変わって早々の平成３（1991）年に、バブル経済は崩壊を迎えることになります。長きに亘る平成大不況といわれる時代がはじまりました。

当時の木材業界においても大きな出来事が起きていました。ちょうど1年前の平成２（1990）年のバブル崩壊直前、住宅が一年間で170万戸あまりが建築された年でもあります。住宅建築の材料および材木が不足し、作れば売れるという好景気でした。いわゆる、第一次ウッドショックが起きていたのです。翌年になると、バブル崩壊は住宅建築の着工数に歯止を掛けます。137万戸ほどに落ち込んでしまいます。

一足先に不況が訪れた木材業界ではあったものの、瀬沼木材の勢いは止まりません。平成６（1994）年３月に宅建免許登録『東京都知事免許（06）第 071167 号』の許可を受けます。社会全体が大きな苦境の波に呑み込まれる中、何とか乗り越えながら生き残りを掛け、社長・正次を筆頭に一所懸命に不況と向き合ったのです。

## 瀬沼正次の軌跡

本業の傍ら、地元経済団体への活動も勢力的に参加をし、重責を担うことも珍しくなかった正次は、地元紙の記事に取上げられることもありました。

平成４（1992）年４月28日（火曜日）発刊の週刊紙「東京速報」の記事では、東京八王子いちょうライオンズクラブの次年度新役員・瀬沼正次幹事としてその責務を委ねられたことが記事となって掲載されました。

当時の記事によると、名門・行動派として大いに期待されていたことが明確です。ウッドショックの影響を受ける中、正次は逆境を迎えたときこそ、本来の力を発揮する男だったのかもしれません。勢力的に地域社会のための活動に参加したのです。

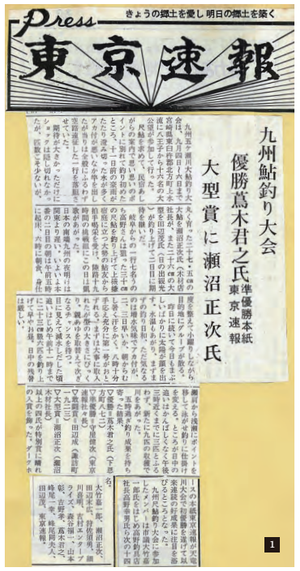
名門・行動派の五役

入札結果

視覚障害者に

後に平成７（1995）年７月から平成８（1996）年６月までの１年間、東京八王子いちょうライオンズクラブの会長を務め、地域貢献及び社会貢献に尽力したことが、そのことを物語っています。

また、正次は筋金入りの釣り好きであったことも確かです。九州鮎釣り大会において、大型賞に輝いた当時の記事が残されています。平成14（2002）年、茨城外房名物・平目祭でも大型のヒラメを釣っては釣場速報に掲載されるほどの、腕前でした。



Press 東京速報

九州鮎釣り大会 優勝蔦木君之氏 準優勝本紙東京速報 大型賞に瀬沼正次氏

①九州鮎釣り大会において大型賞に瀬沼正次が輝き当時の新聞に大々的に取り上げられた／②八王子材木組合／③平目祭にて吊り上げたヒラメを自慢げに持ち上げる瀬沼正次／④狩猟仲間と／⑤八王子法人会／⑥消防団／⑦ナイスワシントン／⑧八王子いちょうライオンズＬ結成５周年記念

さらに、ゴルフにおいても話題の人として新聞記事になったこともあります。
現在の社屋入口を入ってすぐのカウンターには、昭和 61（1986）年４月８日にGMG八王子ゴルフ場での八王子市議会議員皆川清和ゴルフ会でホールインワンを達成した時のゴルフ球と新聞記事が飾られています。当時の南７番ホールでのことです。

①八王子市議会議員皆川清和ゴルフ会でのホールインワン新聞記事（1986年）／②東京いちょうライオンズクラブ“ 熱海・サン三橋 ”（1993年）／③ナイスツアー“ ワシントン・オークランド・ニューヨーク ”（2000年）

## 瀬天会発足

平成12（2000）年に入り早々新たな事業展開を狙い、天正建設株式会社を設立します。それと同時に、元来より発足していた瀬沼会の“ 瀬 ”の頭文字と、天正建設の“ 天 ”の頭文字を合わせて、瀬天会が誕生しました。

世間ではデフレ不況と言われる時代でしたが、そんな中でも瀬沼木材は仲間を一番に想い、業者間の安全大会を催しては威勢よく盛り上げていったのです。
すでに多くの協力企業、お取引様より厚い信頼を得ていたこともあり、瀬天会は発足した当初から瀬沼木材には欠かすことのできない会となり、令和３（2021）年時点で発足から21周年を迎えるまでとなっています。

そんな中、平成16（2004）年６月には、建築士事務所登録『二級東京都知事 第15093号』の許可を受け着々と企業としての質の向上に余念がなかったのです。

## 瀬沼木材のあらたな顔

平成17（2005）年、瀬沼木材有限会社から瀬沼木材株式会社に組織変更及び役員変更が行われました。

正次の長男・現社長である瀬沼庄次郎が代表取締役社長となり、次男・現専務である瀬沼栄次朗が取締役専務に就任しました。正次は、取締役会長に就任し、新事業部設立等による業務内容の拡大にともなった役員変更は新たな顔ぶれへと経営のバトンが受け渡されたのです。
現在でも、周知のための挨拶文の原稿が当時のまま残されています。

同年12月には、一般建設業許可登録種の追加申請を行い、業務拡大への路線は着実に成長路線に乗り、上昇機運の一途を辿っていました。（土）、（大）、（左）、（と）、（石）、（屋）、（タ）、（鋼）、（筋）、（ほ）、（しゅ）、（板）、（ガ）、（塗）、（防）、（内）、（絶）、（具）、（水）が追加されました。

翌年の平成18（2006）年には、第二次ウッドショックが襲います。住宅建築の着工数は129万戸ほどが建っていましたが、翌年には106万戸まで落ち込んでいます。そんな逆境の中、社長に就任した庄次郎は、先代が見守る中での船出に意気込んでいました。

60TH ANNIVERSARY since 1961

## 堅実経営の裏側

そして盤石な経営陣を敷く中、同時期に社長である庄次郎と結婚した三枝が取締役として総務全般を取り仕切るようになります。きっかけは、平成15（2003）年に先代である正次が脳梗塞で倒れたことにはじまります。
看病をする妻・道子もその間に数回骨折をするなど、瀬沼木材での仕事に支障がでるようになってきました。実家で両親が酒屋（コンビニ）を経営している際、経理の全てを三枝が担っていたこともあり瀬沼木材の経理および総務全般を任されることになったのです。

当時を振り返ると、どんぶり勘定であったことは否めない時期もあったそうです。平成15（2003）年を節目に大幅な財務強化が行われ、これまでとは違った着目点、つまり、財務の面での改善が図られたのです。そのことは実に大きな果報をもたらします。建設業界で必要な申請には財務諸表の添付が必須であることが多く、経理及び総務全般の改善がなされたことで、瀬沼木材の業務拡大とともに経営状況は大幅に改善されたと考えられます。

## 八王子で唯一の【多摩産材認証登録】

平成18（2006）年４月には、初のホームページが開設され、これまでにはない新たな販路拡大へのアプローチがこの時からはじまりました。

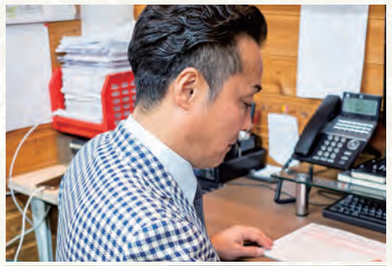
翌月の５月、八王子では唯一、多摩産材を扱う登録業者となります。平成18（2006）４月からスタートした制度にいち早く対応した格好となりました。庄次郎の底なしのバイタリティーは、仕事面では行動力の即効性と実効性を兼ね備えたものでした。

多摩産材認証制度とは、「東京の木多摩産材認証協議会」が多摩地域で生育し、適正に管理された森林から生産された木材の産地を証明する制度のことで、森林保有者、素材生産業者、原木市場、製材業者に与えられるものです。

同月、初の瀬沼フェアが開催されました。瀬天会が同業他社の安全大会だとすれば、瀬沼フェアは一般の方向けの感謝祭の位置づけとなります。地域活性と交流の場として毎回盛大に開催されています。YouTube での動画配信では、社長・庄次郎自らがマイクを握りインタビューに答えています。

## 切磋琢磨する、庄次郎と栄次朗

Senuma Mokuzai
Chokotto Column
003



昭和46（1971）年５月11日に先代・正次の長男として生まれた庄次郎は、地元の小学校・上壱分方小学校へ通い、四谷中学校を卒業すると、山梨県にある日本大学明誠高等学校へ進学します。その後、日本大学経済学部経済学科へと進み、将来は実家稼業を継ぐことを意識しつつ、卒業と同時に新宿区目白にある株式会社前田商店へ正社員として丁稚奉公に出ます。227番目の丁稚奉公者として３年間、日々務めることになります。

株式会社前田商店は、創業大正５（1916）年から続く老舗中の老舗です。木材スーパーとして、また一般建築用木材並新建材並住宅機器販売を営業種目としている企業であり、主要取引先・仕入れ関係の一部を記すと、市場関係として、丸宇木材市売株式会社・株式会社吉貞・新東京木材商業協同組合・東京中央木材市場株式会社・東京新宿木材市場株式会社・村上木材株式会社・東京木材市場株式会社・ナイス株式会社・その他が挙げられます。建材関係として、ジャパン建材株式会社・株式会社ジューテック・株式会社丸増ベニヤ商会・株式会社ヨコヤマ・株式会社ナガサワ・その他となり、瀬沼木材の大黒柱となる庄次郎にとって最高の学ぶ環境が整っていたと言えます。その後、家業である瀬沼木材に戻ると、行政の入札にも勢力的に参加するようになり、丁稚奉公で学んだことの成果を発揮しました。

一方、２歳年下の栄次朗は、昭和48（1973）年８月６日に先代・正次の次男として生まれます。兄の庄次郎と同様、地元の上壱分方小学校へ通い、四谷中学校を卒業すると、埼玉高等学校（現・埼玉平成高等学校）へ進学。卒業すると、兄・庄次郎とは逆方向の九州へ向かいます。当時、ナイス株式会社の会長と父であり瀬沼木材社長の正次との間で「商売を覚えるならば南の方がいい」とのやりとりがあったそうです。背景にはバブル崩壊がありました。そのこともあり比較的影響をまだ受けていない地域の九州・福岡のナイス株式会社福岡営業・問屋の扇木材株式会社へ修行に行くことになったのです。九州全体から材木屋や製材所の跡取り達が総勢23人、栄次朗を入れると24名がそこに集まりました。世の厳しさ、年齢関係なしの仕事の年功序列、3年間での寮生活での規律を身に染みるほど学び、当時の扇木材専務・岡本氏を目標としたそうです。契約期間３年と延長１年の４年間を九州の地で切磋琢磨したのです。
現在の専務・栄次朗の職人気質のルーツはここにあるのかもしれません。

## 先代・正次との別れ

平成 29（2017）年７月16 日、先代である正次が八王子市内の病院で安らかに逝去しました。創業者・庄太に続き、八王子の名家である瀬沼家の大黒柱として人生を歩んだ人物です。性格はまさに“我が道を進む”、きっぱりとして潔かったと聞いています。趣味も多彩で、ゴルフや釣りをはじめ、狩猟や金魚の飼育、闘犬にも興味を持っていました。
地域活動では、祭りや催し事に際しては中心人物として各方面から厚い信頼と人望を集めていました。何より、高度成長期からバブル経済へと世間が浮足立つ中、木材供給不足と言われたウッドショックを２回も経験し、バブル崩壊後の日本経済の苦しい状況下においても、瀬沼木材株式会社を名実ともに成長させた実力者であったことは間違いありません。良い時期も苦しい時期も常に先手先手と打つ手を緩めず、我が道を貫く姿勢は、これからも長きに語り継がれていくでしょう。

## 平成の終わり

平成の終わりが間近に迫る平成 31（2019）４月、現社屋へと改築が行われました。
本社社屋のエントランスを入るとすぐ、日本三大美林の秋田スギをふんだんに使った空間に木材独特の香りが訪れる人たちを出迎え包み込みます。
カウンター越しにすぐ目に留まるものがあります。今から10 年ほど前に制定された社是です。社是には、“すべてのお客様の住まい造りを汗と知恵と和合と心をもって造って行く企業大木のようにどっしりと構えてお客様に喜び感謝され地域に貢献する企業” と記されています。
現在の社屋となったこの年、31年続いた平成の世は終わりを迎えたのです。

## 令和のはじまり

31年に亘る平成の時代に幕が下り、令和の時代が幕を上げた翌年。
令和２（2020）年は新型コロナウイルス感染症拡大がこの年を象徴するものとなってしまいました。そうした中、９月に新宿支店を開設します。行動自粛がある中での経済活動とはいえ、瀬沼木材株式会社は攻めの姿勢を崩していませんでした。

緊急事態宣言が発令される中、思うようにいかないことの方が多くあったはずですが、瀬沼木材の社員は誰一人下を向く社員はいませんでした。信頼と実績のもと、常に新規案件が続くのが令和の瀬沼木材です。

令和３（2021）年３月頃には、木材の大幅な供給不足が問題視されました。価格が高騰する中、第三次ウッドショックが起きたのです。瀬沼木材においても例外ではなく、すぐさま国産木材の確保に走りました。そうした中、前年に延期をしていた東京五輪2020 大会が開催されます。同年９月に入るとワクチン接種やマスク着用などの予防策が功を奏し、緊急事態宣言や規制緩和が加速していきました。

そうして迎えた 2021 年、瀬沼木材株式会社は創業から 60 年を迎えたのです。

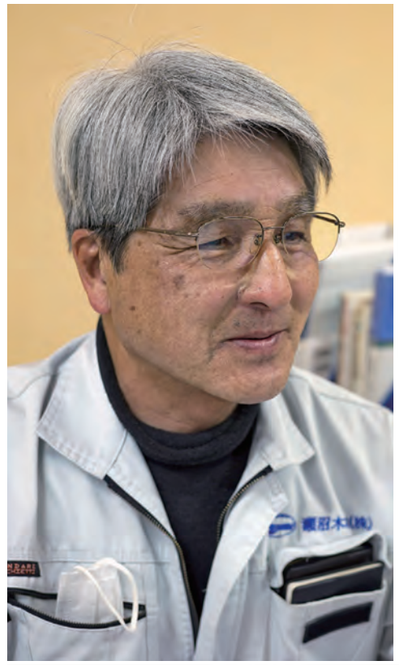
## 60周年を迎えた瀬沼木材株式会社

60周年を迎えた現在、近い将来を見据えた瀬沼木材のあるべき姿として、“木造ゼネコン”の展望があります。すでに木造だけでなくRC構造や鉄筋構造も取り扱うまでの総合建設業へと成長しました。創業時、木材商からはじまった瀬沼木材。取り巻く環境も60年が経った現在とは経済状況も比較になりません。しかし、先達の血がにじむような努力をなくして、現在の瀬沼木材はありません。近代化が進み、当然ながら設備面でも創業当時と比べものにならないほど向上しています。

ただし、現在も昔も変わらないものがあります。それは“木材へのこだわり”です。木材にこだわり営んできた家業の根底にある“木”と共に“家族”と“絆”、そしてコミュニティを守っていく。そのことに企業として携われることがいかに重要で誇らしいことであるのかを常に意識しています。その結果、アイディアは湧いて出てくるほど絶えません。

それを実現していける企業を目指し、さらには八王子の地元企業としての信頼と実績のもと、地域の皆様に愛される瀬沼木材でありたいと切に祈っています。その想いは、“WOODY LIFE CREATE” 人と環境に優しい「木のぬくもり」で自由な発想と創造を提供します。これは、既存するパンフレットの表紙に記されている通りです。また、コロナ感染症感染拡大の影響で開催が中止となっていました各種イベントの開催も再開していく方向です。

家業の根底にある「**木**」と共に
「**家族**」と「**絆**」、
そして**コミュニティ**を守っていく



さらに、今後の取組みとして一番に掲げるのは、地元八王子の“八王子産材”を使った、“瀬沼ブランド”の誕生を目指しています。木の伐採から製材・加工までをワンストップサービスで行い、安心・安全な住まい作りとアフターメンテナンスまでを行う。お客様にこれからもずっと寄り添っていく身近な存在でありたいと、この先へと続く明るい未来と大いなる発展を目指し、社員が一同となり新たな第一歩を踏み出しました。

SENUMA
COLUMN
03

# 丸太の木取りについて

丸太から使用用途に応じて必要な部材を製材する作業のことを
「木取り」といいます。
一本の丸太からとれる木材にも様々な種類があり、
それぞれに特徴や個性を持っています。

## 01 土台／柱／梁

木材の中心部、もしくは近い箇所となる部分から切り出される部分。密度が高く非常に堅いため、土台や柱、梁に使用されます。

## 02 間柱／筋交

壁の下地材や下地受け材となる「間柱」や、柱と柱の間に斜めに入れて建築物や足場の構造を補強する部材「筋交」に使用される部分です。

## 03 枠材

開口に固定される戸、窓等の枠や開口に固定される戸、ふすまや障子のまわりの枠や引き戸のまわりの枠に使用される部分です。

## 04 野地

屋根のことから転じ、屋根仕上げの下になる面のことを「野地」と言います。

## 05 フロアー原板

表面は硬くもやわらかくもない中間的な硬さで、年輪が美しく現れる部分です。

仕事も遊びも一生懸命

# 活動と実績

OUR ACTIVITIES & ACHIEVEMENTS

木材の伐採および伐根はもとより、木材総合商社(ゼネコン)としての役割を果たすまでには、先代達の大胆な先駆的な発想と行動力が不可欠でした。これからの未来を、私たちは伝統の技と最新の技術を創意工夫して築いていきます。

# 社内イベント

ENJOY ! SENUMA LUMBER

瀬沼木材では社内外において催される多彩なイベントを通して、常に身近な存在であり、皆さまに寄り添っていきたいと願っています。お客さまはもとより、メーカーさま、お取引先さま、業者さま、従業員の皆さま、多くの喜びの笑顔は、何ものにも代え難い幸福感を与えてくれるものであると考え、いつまでも第一に守って参ります。

①日々汗を流す仲間と訪れた松本城 ／ ②青空の下楽しむグアムでのゴルフシーン ／ ③どこまでも続く青空と透き通った海水が印象的なグアムのビーチ ／ ④仲良く向かい合って座る柳川川下りの様子 ／ ⑤日本と中国の建築様式を取り入れた首里城での一枚 ／ ⑥瀬沼フェア（2011年）

⑦TDYリモデルコレクション2018 ／ ⑧源頼朝が源氏再興を祈願したことでも知られる三嶋大社を訪れる ／ ⑨150人が参加した屋形船での食事会（瀬沼木材の企画ツアー） ／ ⑩韓国社員旅行にて遠くの的を射る雄姿 ／ ⑪世界文化遺産の構成資産に登録された三保の松原 ／ ⑫韓国社員旅行（2010年） ／ ⑬台湾社員旅行（2012年） ／ ⑭ 異文化風情が色濃く漂う沖縄

# 施工実績

EXPERIENCE OF CONSTRUCTION

瀬沼木材では、木材の材質にこだわった上品かつ上質な住居をはじめ、外観や間取りに工夫を凝らした戸建や集合住宅、施設関係、公共施設、そして加工までを施行しております。私たちは、これからもお客様が所有される敷地の価値を最大限に活かしたプランをご提案して参ります。

## 戸建

▼ A様邸 新築工事

▼ O様邸 新築工事

▼ S様邸 新築工事

▼ K様邸

▼ M様邸 新築工事

▼ A様邸

▼ Y様邸

▼ T様邸

▼ K様邸 小屋裏収納設置工事

▼ T様邸 改修工事

▼ I様邸

▼ O様邸 新築工事

▼ S様邸 新築工事

▼ O様邸

▼ N様邸 リフォーム工事

▼ N様邸

▼ O様邸 新築工事

▼ K様邸

▼ T様邸 新築工事

▼ K様邸 改修工事

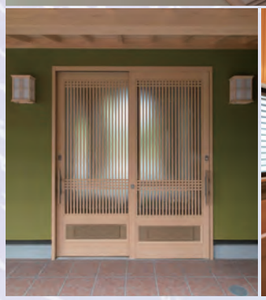
▼ I様邸

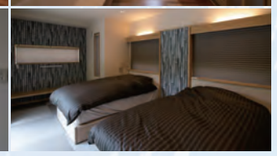
▼ O様邸 新築工事

▼ 法泉寺 様

▼ K様邸 新築工事

▼ S様邸





▼ S様邸 新築工事

▼ T様邸

▼ M様邸 アパート新築工事

▼ O様邸 新築工事

▼ S様邸 新築工事

▼ H様邸 ウッドデッキ工事

▼ T様邸 ガレージ工事

▼ I様邸 新築工事

▼ 三恵建設 様 ウッドデッキ工事

▼ I様邸 リフォーム

## 集合住宅

▼ Mスカイ 様 新築工事

▼ 世田谷

▼ エンゼルホーム戸越 様

▼ reem 様

▼ 片倉共同住宅 様 新築

## 施設関係

▼ 若駒ライフサポート 様

▼ N工務店 様

▼ 母の手諏訪 様

▼ F学園Hの家 様 新築工事

▼ 箱根ヶ崎調剤薬局 様 新築工事

▼ F学園Mの里 様 新築工事

▼ 陽だまり 様

▼ きらきら 様

▼ 住まいる川口 様

▼ KSDクリニック 様

▼ とぶき 様 ブロックフェンス工事

▼ ももビル 様

▼ エイト 様 事務所

▼ 武蔵野会 様 外部改修

▼ 松木H 様

▼ 上柚木 様

▼ 千葉エンジニアリング 様

▼ 打越 GH 様

▼ 天文館諏訪 様

▼ 東屋

▼ 南口皮膚科 様

▼ 氷川台 様

▼ たまほいくえん 様

▼ Sakura Town 西寺方 様

（テーブル）

▼ 元八賃貸住宅 様

▼ E営業所 様 新築工事

▼ T美容室 様 店舗工事

▼ 外壁塗装工事

公共施設

▼ R公園改修工事

▼ S小学校 様 耐震補強その他工事

▼ 加住小学校 様

▼ 仙行寺 様

▼ 全国都市緑化フェア（富士森公園目隠しフェンス）

▼ 大和田市民センター 様 工事

▼ 楢原中学校 様

▼ 北山保育所 様

▼ 北野下水 様

▼ 城山小学校 様

▼ 山田小学校 様

▼ 椚田学童 様

▼ K小学校 様 耐震補強その他工事

## 加工

▼ 八王子城跡 様

▼ 八王子市役所 様 カウンター作成

▼ M様邸 家具

▼ 木育キャラバン（積み木）

▼ バインダー

▼ 保育園机

▼ チラシBOX

▼ 名所

▼ 山六 様 テーブル

「木材のことなら瀬沼木材」

# 事業案内

PROFILE

人と環境に優しい「木のぬくもり」、創業時より受け継がれる木材への「こだわり」。
瀬沼木材では、地球に優しい素材を厳選し、笑顔が溢れる家づくりのため、お客様ニーズに最大限応える建築計画を行い毎日の豊かな暮らしを提供しています。

# 人と環境に優しい「木のぬくもり」で、自由な発想と創造を提供します

多様化する社会のニーズにお応えするため、そして、豊かな毎日の暮らしのために、弊社では地球に負荷をかけないように優しい素材を厳選し、新築工事からリフォーム工事まで幅広く承っております。
建造物の大きさや建築費の多少に関わらず、地震にもびくともしない一定の耐震性を確保した建物作りに努め、安心と安全をお約束した耐震リフォームは、とくに自信をもって推進しています。

## ● 概要

| | |
|---|---|
| 会社名 | 瀬沼木材株式会社 |
| 代表 | 瀬沼 庄次郎 |
| 創業 | 創業：昭和 36（1961）年 ／ 設立：昭和 48（1973）年 |
| 資本金 | 100,000,000 円 |
| 所在地 | 〒193-0816 東京都八王子市大楽寺町２番地 |
| 連絡先 | TEL：042-651-4720 ／ FAX：042-651-9301 |
| 営業時間 | 8:00 ～ 17:00 |
| 定休日 | 日曜日・祝日・第2, 第４土曜日 |
| 事業内容 | 分譲住宅／注文住宅（木造・鉄筋コンクリート・寺社建築）／不動産／木材販売／リフォーム業／官庁工事／住器／新建材販売／伐採工事／製材加工 |
| 支店 | 新宿支店（〒162-0832 東京都新宿区岩戸町 17 文英堂ビル 8F） |
| 免許番号 | 特定建設業許可番号　東京都知事 許可（特-29）第49594号<br>建築事務所登録番号　二級 東京都知事登録 第15093号<br>宅建免許番号　東京都知事 (6) 71167<br>産業廃棄物収 運搬業許可番号　第 13-00-218794 号 |



## 1 建築業

耐震性はもちろん、耐火性、断熱性、耐久性、デザイン性に優れた、新築からリフォーム全般の業務を行っております。
これまでの伝統を活かした手作業の製法を残しつつ、積極的に新しい技術・建材を取り入れて施工いたしております。安心と安全のある住まい作りのために、きめ細やかな心遣いとすべての面（税金や資金の調達、土地・家に関する法令や法律など）で満足していただけるよう誠心誠意対応させていただいています。

木造軸組（在来）／2×4（ツーバイフォー）／社寺・仏閣建築／鉄筋コンクリート（RC）／鉄骨（S）／その他の一般建築

## 2 土木工事業

経験豊富な土木技術者による細やかな対応と現場の状況を踏まえた適切な業務を行っています。多種多様のニーズに合った工事測量をはじめ、図面作成についても仕様やご予算に合わせ、最終図面の確認・決定までに間違いや見落としがないかを徹底的に確認します。施行現場では、経験と実績を兼ね備えた技術者と適切な研修と専門知識を活かす有資格者も多く活躍しています。測量から基礎工事、および一般土木工事業全般を一貫して請け負うことが可能です。

測量／造成／基礎／道路／橋梁／塗装／上下水道／その他の一般土木工事

## 3 木材製材・加工

八王子で唯一の“多摩産材認定登録事業者”です。多摩地域で生育し、尚かつ厳正適切な管理の下、生産された木材の産地である木材を取り扱う登録事業者を対象にした「東京の木多摩産材認証協議会」の制度です。
地元密着企業だからこそ宿る想いがあり、先代よりはじまった「木材商」の誇りが現在でも脈々と受け継がれています。現在は、多摩産材をはじめ国産木材、さらには海外からの輸入木材の買付も行っております。

## 4 木材建材・住宅機器販売

住宅に必要な木材のプレカットや住宅設備機器の販売及び工事を承っております。
建材および住材を取り扱うことに特化した企業として、ご相談をいただいたお客様にはスピード感をもって対応しています。ご相談からワンストップで作業を行い、施工終了後のアフターメンテナンスもきめ細やかな対応をさせていただいています。

## 5 不動産業

土地探し、設計、施工までをトータルでサポートいたします。
土地の形や状況、法的規制、地盤強度、日射しや自然環境、人通りや近隣環境などもしっかりとディスカッションし、ご要望をお聞きした上で、ライフスタイルや価値観を共有しながら住まいづくりをサポートしています。外観をはじめ、インテリアにも配慮したお客様に寄り添った形での提案をしています。

## 6 新築工事

戸建て住宅はもちろん、集合住宅、オフィスビル、学校、病院、商業施設、さらには歴史ある寺院などあらゆる建築物の工事を行い、設計段階から竣工まで責任を持って対応しています。多くの方のために快適でストレスフリーの空間づくりと、安心で安全な最適な環境であることが絶対条件となっている近代建築。日々の暮らしに、人と環境に優しい“木のぬくもり”を提供する瀬沼ブランドがその条件を満たし、新築工事を行っています。

## 7 リフォーム・改修工事

防水工事、外壁塗装、外構工事、耐震補強、内装改修などの総合リフォームおよび改修工事を承っています。
住み継がれていく建造物に愛着を残しつつも経験と実績で新たな息吹を宿す。リフォーム・改修工事への提案もお客様に寄り添ったものとなっています。また、小さなお子様やご高齢の方、車いす利用者への配慮よりバリアフリーへの改築も随時迅速に行っています。

## 8 その他の施工・木材加工

ご依頼主様のニーズに合わせ、オーダーがあれば何でもご相談をお受けしています。
木の伐採から製材までを一貫して自社で行うことができ、“材木のことなら瀬沼さん”、として様々な施工案件およびオーダー品も受注しています。

積木収納箱／けやきを使用した曳標／多摩産材を使用した家具／モニュメントの台座

# 安心・安全な暮らしつくりのために「許可証」のご紹介

**認可**

特定建設業許可登録
　東京都都知事（特-29）第49594号
建築士事務所登録
　二級 東京都知事 第15093号
宅建免許登録
　東京都知事免許（06）第071167号
産業廃棄物収集運搬業許可
　東京都知事 第13-00-218794号

**免許**

一級建築施工管理者 …… 5名
二級建築施工管理者 …… 2名
一級土木施工管理者 …… 1名
二級土木施工管理者 …… 2名
二級建築士 …… 2名
一級造園施工管理者 …… 1名
宅地建物取引主任 …… 2名

## 特定建設業許可

〒193-0816
東京都八王子市
大船寺町2
瀬沼木材（株）
瀬沼 庄次郎 様

東京都知事 小池百合子

特定建設業の許可について（通知）

令和 2年11月20日付けで申請のあった特定建設業については、建設業法第3条第1項の規定により、下記のとおり許可したので通知します。

記

許可番号　東京都知事　許可（特－2）第 49594 号
許可の有効期間　令和 2年12月20日から 令和 7年12月19日まで
建設業の種類
土木工事業　しゅんせつ工事業
建設工事業　水道施設工事業

注）許可の更新申請を行う場合の書類提出期限：令和 7年11月20日
（裏面の注意事項をお読みください。）

〒193-0816
東京都八王子市
大船寺町2
瀬沼木材（株）
瀬沼 庄次郎 様

東京都知事 小池百合子

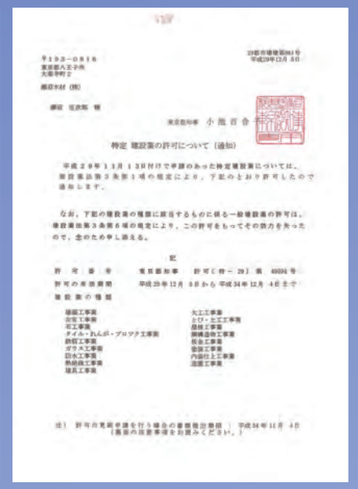
特定 建設業の許可について（通知）

平成30年 8月 8日付けで申請のあった特定建設業については、建設業法第3条第1項の規定により、下記のとおり許可したので通知します。

記

許可番号　東京都知事　許可（特－30）第 49594 号
許可の有効期間　平成30年 8月31日から 平成35年 8月30日まで
建設業の種類
舗装工事業

注）許可の更新申請を行う場合の書類提出期限：平成30年 7月31日
（裏面の注意事項をお読みください。）



〒193-0816
東京都八王子市
大船寺町2
瀬沼木材（株）
瀬沼 庄次郎 様

東京都知事 小池百合子

特定 建設業の許可について（通知）

平成29年12月13日付けで申請のあった特定建設業については、建設業法第3条第1項の規定により、下記のとおり許可したので通知します。

なお、下記の建設業の種類に属するものに係る一般建設業の許可は、建設業法第3条第6項の規定により、この許可をもってその効力を失ったので、念のためゆし添える。

記

許可番号　東京都知事　許可（特－29）第 49594 号
許可の有効期間　平成25年12月 8日から 平成30年12月 7日まで
建設業の種類
舗装工事業
造園工事業
水道施設工事業
土木工事業
とび・土工工事業
鋼構造物工事業
管工事業
電気工事業
電気通信工事業
機械器具設置工事業
消防施設工事業
清掃施設工事業
解体工事業
内装仕上工事業
塗装工事業
防水工事業
タイル・れんが・ブロック工事業
石工事業
屋根工事業
鋼構造物工事業
舗装工事業
しゅんせつ工事業
板金工事業
ガラス工事業
保温工事業
熱絶縁工事業
建具工事業
左官工事業
土木工事業
とび・土工工事業
石工事業
屋根工事業
鋼構造物工事業
舗装工事業
しゅんせつ工事業
板金工事業
ガラス工事業
保温工事業
内装仕上工事業
防水工事業
熱絶縁工事業
建具工事業
塗装工事業
左官工事業
造園工事業
水道施設工事業
消防施設工事業
清掃施設工事業
解体工事業

注）許可の更新申請を行う場合の書類提出期限：平成34年11月 8日
（裏面の注意事項をお読みください。）

## 建築士事務所登録通知所

〒193-0816
東京都八王子市大船寺町2
瀬沼木材株式会社二級建築士事務所
代表取締役 瀬沼 庄次郎 様

建築士事務所登録通知書

建築士法（昭和25年法律202号）第23条の30規定により、下記のとおり登録し、通知します。

平成30年8月15日

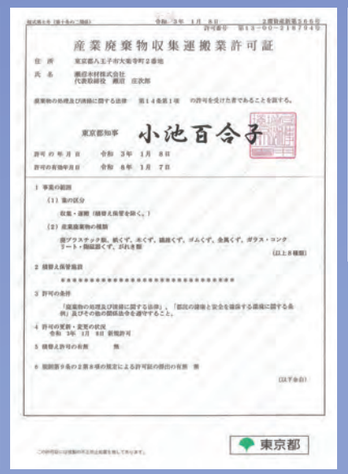
東京都指定事務所登録機関
一般社団法人 東京都建築士事務所協会
会 長 関 宏 樹

記

| | |
|---|---|
| 事務所名称 | 瀬沼木材株式会社二級建築士事務所 |
| 所在地 | 東京都八王子市大船寺町2 |
| 開設者氏名 | 瀬沼木材株式会社<br>代表取締役 瀬沼 庄次郎 |
| 登録番号 | 二級 東京都知事登録 第15093号 |
| 登録年月日 | 平成30年8月15日 |
| 管理建築士氏名 | 梅本 良人 |
| 管理建築士登録番号 | 二級 東京都知事登録 第71217号 |
| 登録の有効期間 | 平成30年8月15日から平成35年8月14日まで |

（裏面に登録後の注意事項が載ります。）

## 産業廃棄物収集運搬業許可証



令和 3年 1月 8日　　2廃収運搬第35号
許可番号　第13-00-218794号

産業廃棄物収集運搬業許可証

住　所　東京都八王子市大船寺町2番地
氏　名　瀬沼木材株式会社
　　代表取締役　瀬沼　庄次郎

産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律　第14条第1項　の許可を受けた者であることを証する。

東京都知事　小池百合子

許可の年月日　令和 3年 1月 8日
許可の有効年月日　令和 8年 1月 7日

1 事業の範囲
（1）種の区分
収集・運搬（積替え保管を除く。）
（2）産業廃棄物の種類
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類
（以上8種類）
2 積替え保管施設
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
3 許可の条件
（産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律）、「廃棄物の運搬と安全を確保する措置に関する条件」及びその他の関係法令を遵守すること。
4 許可の変更・変更の状況
令和 3年 1月 8日 新規許可
5 積替え許可の有無　無
6 廃棄物処理法第8条の規定による許可証の提出の有無　無

（以下余白）

東京都

## 宅地建物取引業者免許証

宅地建物取引業者免許証

商号又は名称　瀬沼木材　株式会社
代表者氏名　瀬沼　庄次郎
主たる事務所　東京都八王子市大船寺町2
免許証番号　東京都知事（6）第７１１６７号
有効期間　平成29年3月12日から平成34年3月11日まで

宅地建物取引業法第３条第１項の規定により、宅地建物取引業者の免許を与えたことを証する。

平成29年3月11日
東京都知事　小池百合子

# 創業120年に向けて ～これからの60年～

創業60周年を迎えて、まず、瀬沼木材株式会社をご愛顧いただいておりますすべての方に、心よりお礼申し上げることにより幕は下り、熱き想いを抱くことであらたな幕が上がりました。

未だに国内では新型コロナウイルス感染症が大流行しています。そうした中、ワクチン接種も進みつつあり、徐々にではありますが日常を取り戻しつつあるのではないかと感じています。それとも、あらたな様式に社会が馴染んできたのかもしれません。

瀬沼木材でも、ポスト・コロナ時代の企業経営が問われることは言うまでもありません。ただ、変わらないことも多くあります。特に、木材を取り扱う専門業者として、そのぬくもりをお客様に提供していくことに関して、けっして妥協しないという点です。木材にこだわりをもつお客様は“優しさ”、“温もり”、“居住環境”を生活の中心において重要視されている傾向が強く感じられます。弊社としても“家族が集うところ”として、さまざまな住環境および住居のデザインを提案しています。家族を大きな屋根で守るイメージで、いつまでも変わらない“幸福を運ぶ材木屋”として在り続けたいと切実な想いがあります。

もう一点変わらないことがあります。社員とその家族を自分の家族のように大切にすること。そして、協力会社や下請け会社の社員とその家族も大切にすることです。弊社ではさまざまなイベントを通してその役割を担っていますし、これからも続けていきます。

コロナ感染症の影響により、ますます先が読めなくなり、正しい経営だけでは成り立たなくなってきています。売り上げや利益を出すことも大切ですが、これから先の60年を生き抜くためには、どれだけの方々を幸せにできるのか、が問われる時代ではないでしょうか。技術や能力および生産性を追求した時代から、新たな企業価値創造の時代へと社会が変わりました。特に、自然環境への配慮や働く環境作りは成長企業には欠かせないポイントです。弊社も真剣に向かい合って戦略を取っていかねばならないと考えています。

そしてこれから立ちはだかる難題をクリアした先に、創業120周年があります。何よりキーとなる創業家である瀬沼一族のモットーとして、先代より脈々と受け継がれている“利他の精神”を、新たな価値観を持った経営陣に伝承することでそれは成せると信じています。そのことに気づく点において、今と昔を熟知し未来を築く意味でも、節目に記念誌編纂を行ったことはとても重要なことでした。

これを機に、そして次の60周年に向けて、まさに今第一歩を大きく踏み出しております。
瀬沼木材株式会社は、創業120周年を目指し、これからも日々切磋琢磨して参りますことをここに宣誓いたします。

■ 写真提供

・八王子市郷土資料館

・八王子市役所

■ 主な参考文献

・『多摩歴史散歩2 滝山・八王子城址　陣馬街道／日野市』有峰書店　佐藤孝太郎 著

・『元八王子の歴史』上幸太郎 著

・『八王子市史』

・『新八王子市史　資料編5◆近代Ⅰ』

・瀬沼道子「日記」

---

発行日：　2022年5月13日

発行元：　瀬沼木材株式会社

発行責任者：　瀬沼 庄次郎

編集：　60周年記念誌制作委員会
〒193-0816 東京都八王子市大楽寺町2
042-651-4720
http://www.senuma-mokuzai.jp

取材・原稿制作：　株式会社 DONNE&COMP　田中勇介

デザイン・印刷：　株式会社シンクメディア
〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-6-6 6F
https://www.syncmedia.co.jp

Copyright © Senuma Lumber Co., Ltd.

60TH

ANNIVERSARY

since 1961

— 60周年記念誌 —

瀬沼木材株式会社